

オプティア クッション グレイス

取扱説明書／保証書

このたびは、アップリカ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
この製品は生後1カ月*～36カ月(体重約15kg)までの乳幼児1人用ベビーカーです。

※ここでいう生後1カ月とは、出生時に体重2.5kg以上かつ在胎週数37週以上を満たし、1カ月を経過した乳児を指します。この条件を満たさないお子さまへのご使用については医師にご相談ください。

ご使用の前に、取扱説明書(本書)をよくお読みのうえ正しくお使いください。
お読みになった後は、本書はいつも取り出せる場所に必ず保管してください。
本書に記載されている以外の方法で使用しないでください。製品の機能が充分発揮できないだけでなく大変危険です。



目次

はじめに

ご使用前に	1
保護者の方へのアドバイス／SG基準について／本書の表示について	
ご使用上の注意	2～4
警告／注意	
製品を取り出した時に	5
製品の特徴	
各部の名称	6

ベビーカーの使用方法

ベビーカーの開き方	7
ハンドルの切替のしかた(オート4輪の使い方)	9
手動キャスターロックレバーの使い方	12
ストッパーの使い方	12
ハンドル角度調節の使い方	13
フロントガードの使い方	13
足のセサポートの使い方	14
フットガードの使い方	14
パッド類の取り付け方	15
シートベルトの使い方	16
お子さまの乗せ方・降ろし方	17

肩ベルトの高さ調節	19
リクライニングの角度調節	20
日除けの使い方	21
カゴの使い方	22
インナーシートの使い方	22
ベビーカーの折りたたみ方	23

縫製品の取り外し方法

日除けの取り外し方	25
フロントガードカバーの取り外し方	25
シートの取り外し方	26
シートの取り付け方	28
オプション品の取り付け方	30

その他

日常のお手入れ	31
困った時	33
保管について／廃棄について	34
SGマーク制度について	34
保証とアフターサービスについて	35
保証書	38

・本書に使用しているイラストは、操作方法や仕組みなどを分かりやすくするため、実物とは多少異なる場合があります。
・本書の内容について、誤りや記載もれなどお気づきの点がありましたら、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。
・製品の品質向上のため、予告なしに一部仕様変更する場合がありますので、あしからずご了承ください。

ニューウェルブランズ・ジャパン合同会社

〒108-0023 東京都港区芝浦4-9-25 芝浦スクエアビル
ベビー事業部 お客様サポートセンター TEL 0120-415-814 携帯電話からご利用の場合(通話料お客様負担) TEL 0570-004-155

ご使用前に

保護者の方へのアドバイス

安全、快適にお使いいただくために

- ・ベビーカーの連続使用、長時間使用は避けましょう。
- ・お子さまに直射日光が当たらないように配慮しましょう。
- ・騒音や粉じんの多い人混みはなるべく避けましょう。
- ・振動や衝撃のかかりやすい段差や道路はできるだけ避けましょう。

SG基準について

・SGマークが表示されたベビーカーは、製品安全協会の規定で定められた、つぎのような基準を満たしています。(この製品は、SG安全基準A形合格品です。)

適用範囲	このベビーカーは、一般家庭を対象として、乳幼児を乗せ、外気浴、買物などに使用する1人乗り用のベビーカーです。
形式の分類	A形 生後1カ月を過ぎまだ首がすわらない乳児から寝かせた姿勢で使用できるベビーカー。
使用範囲	生後1カ月から36カ月まで
望ましい連続使用時間	寝かせた姿勢:2時間以内 座らせた姿勢:1時間以内
背もたれ角度	150°以上
車輪の外径	115mm以上

本書の表示について

・「警告」、「注意」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度の大きさにより区分したもので、大変重要な内容です。必ずお守りください。

表示	表示の内容
 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

禁止図記号	表示の意味
	製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止しています。

 アドバイス	製品の取り扱いで知っておくと便利な内容です。
--	------------------------

ご使用上の注意

・思わぬ事故につながるおそれがありますので、ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。



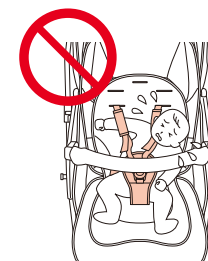
誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

お子さまが落ちたり、お子さまの首にシートベルトが巻き付いて窒息したりするおそれがあります。

シートベルト(肩ベルト、腰ベルト、股ベルト)を外して使用しない。



シートベルトは必ず正しく装着し、お子さまに合わせて長さを調節すること。



お子さまが落ちるおそれがあります。

ベビーカーの中でお子さまを立たせない。



坂道などでベビーカーが勝手に走行、転倒するおそれがあります。

お子さまを乗せる時や降ろす時は必ずストッパーを左右ともロックし、ベビーカーが動かないことを確認する。



お子さまが立ち上がって落ちたりするおそれや、予期せぬ行動が思わぬ事故につながるおそれがあります。

シートベルトを締めていても、お子さまから目を離さない。



お子さまや荷物をのせた時には、ストッパーを過信しない。路面の状態、構造の機能上、耐久性などから、絶対に動かないようにできるものではありません。



可動部でお子さまの指や手足を挟んだり、ベビーカーが身体にぶつかるおそれがあります。

開閉操作は、お子さまが接触した状態や近くにいる時には行わない。



お子さまを乗せたままベビーカーを離れない。



〈次ページに続く〉

**警告**

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

ベビーカーが転倒するおそれがあります。

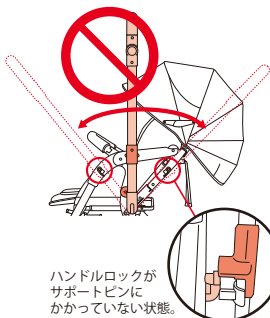
二人以上のお子さまを同時に乗せたり、シート以外のところに乗せない。



階段やエスカレーターなど大きな段差のあるところで使用しない。



ハンドルを『背面から対面』、『対面から背面』へ切替えた際、ハンドルロックはサポートピンに左右ともかけ、必ずハンドルを上下に動かしてロックの確認を行うこと。



路面の影響も加わって、ベビーカー内の温度が高くなるおそれがあります。



気温が高い時や日ざしが強い時は、長時間使用しない。

バランスを崩したり、足下が見えなくて転倒するおそれがあります。



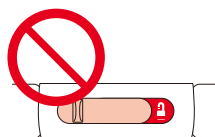
お子さまを乗せたまま持ち上げない。

ベビーカーが折りたたまれ、お子さまが落ちたり、挟まれるおそれがあります。

ご使用時は、開閉ロックが完全に下まで降りている事を確認する。



必ずハンドルレバーロックをかけた上で使用する。



ベビーカーや使用者が転倒したり、ベビーカーが破損したりするおそれがあります。

カゴ以外のところに荷物を載せたり、ハンドルにつるしたりしない。また、ハンドルによりかかったりしない。



ハンドルに過度の荷重をかけない。



路面の溝にベビーカーの車輪がはまり、前のめりになるなどしてバランスがくずれベビーカーや使用者が転倒するおそれがあります。

排水溝の格子状のふた(グレーチング)や踏切など、幅の広い溝がある路面を通過する必要がある時は、溝に車輪がはまる場合があるので、注意しながらゆっくり押すこと。



車輪がはまった時は、フレーム(パイプ)とハンドルを持って、はまった車輪を引き上げてください。その際はベビーカー全体を持ち上げないでください。

**警告**

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

ベビーカーが破損し事故やけがにつながったり、思わぬ事故の原因になるおそれがあります。

- ・お子さまにベビーカーを操作させない。
- ・お子さまの股間を股ベルトの位置に合わせて乗せること。ベビーカーが後方に転倒するおそれがあります。
- ・弊社サービス員以外は分解・組立・改造をしない。
- ・シートを外した状態で使用しない。

- ・急激に力を加えたり、落下、放り投げなどによる強い衝撃が加わった後に使用しない。
- ・お子さまの遊び道具として使用しない。
- ・電車などのご利用時には、無理な乗り降りはしない。ベビーカーが電車などの自動ドアにはさまれても感知されない場合があります大変危険です。

**注意**

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

- ・必ず定期的に点検とメンテナンスを行ってください。
- ・ご使用前に、ベビーカー本体とシート、日除けが正しく取り付けられていることを確認してください。
- ・可動部品には、適時注油するようにしてください。注油にはシリコン滑走剤をご使用ください。
- ・長期間ご使用されていなかったベビーカーを再度ご使用になる場合には、必ず点検とメンテナンスを行ってください。
- ・空車であっても、坂の途中や車道に近い歩道など、危険な場所にベビーカーを放置しない。
- ・ネジやナットなどがゆるんだ状態で使用しない。
- ・2台のベビーカーを連結して使用しない。
- ・前輪を持ち上げた状態で走行しない。後フレームの曲りや折れの原因になります。
- ・ベビーカーにお子さまを乗せて走行するときは、お子さまのために普通の歩き方(時速約4キロメートル位の速さ)で押す。
- ・ベビーカーを砂場や泥水のあるところで走行させない。砂などが入り車輪やキャスターがスムーズに回らなくなる原因となります。
- ・フレームに砂や泥の汚れをつけたままで使用しない。スライド部に砂などが入り開閉できなくなります。
- ・座面下後部のシートサスペンション部分(バネ部分)には触れないでください。破損のおそれがあります。
- ・ベビーカー本体にはお子さまを乗せることを目的とした市販のボードなどは取り付けしないでください。破損の原因となります。
- ・カゴに重量5kg以上の荷物を入れない。

- ・保護者、介添者などが、ベビーカーに腰掛けない。
- ・荷物などの運搬のために使用しない。
- ・その他、お子さまを乗せる以外の目的で使用しない。
- ・バスの中では使用しないでください。本製品は、バスの中で使用することを目的として設計されたものではありません。本製品をバスの中で使用すると、カーブや急ブレーキなどで転倒や思わぬ事故につながります。
- ・電車の中での使用について。本製品は電車の中で使用することを目的として設計されたものではありません。お客様の責任により、本製品を電車の中で使用するときには、カーブや急ブレーキなどで転倒するなどのおそれがありますので、必ずストッパーをかけて、充分注意してご使用ください。
- ・雪が積もった所や、凍結した路面では使用しない。
- ・風の強い時は使用しない。
- ・雷の時は使用しない。
- ・室内、火気の近く、高温になる場所ではレインカバーなどを使用しないでください。ベビーカー内部の温度が高くなりすぎるおそれがあります。
- ・火の近くに置いたり、炎天下で高温になる車中に放置しない。プラスチック部品が変形し、性能を維持できなくなります。
- ・その他、ベビーカーの故障の原因となるようなことはしない。

- ・段差を無理に乗り越えようとししないでください。破損や故障の原因となります。

〈段差の乗り越え方〉

対面での使用の場合は、ステップに足裏をあて、ハンドルを手前に引いて乗り越えてください。



〈対面の場合〉

背面での使用の場合は、ハンドルを押し下げ、同時にアームレスト部を引き上げて乗り越えてください。



〈背面の場合〉

製品を取り出した時に

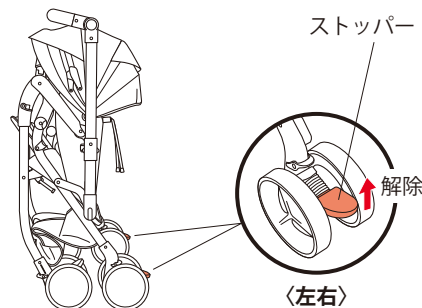
- ・製品を取り出した後は、部品が揃っているか、破損がないかを確認してください。
- ・欠品や破損の際は、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。(P35参照)
- ・ご使用前に、P38「保証書」に次の項目をご記入ください。
 - ①品番、ロット番号(P6「各部の名称」参照)
 - ②購入日
 - ③お客様のお名前、住所、電話番号
 - ④販売店名
- ・レシート(領収書)を本書と一緒に保管してください。(P35参照)

本体

・箱から取り出した時は折りたたんだ状態です。
ベビーカーを開く時はP7を参照ください。

〈製品を取り出した時には〉

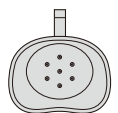
ストッパーがロックされた状態になっております。
ご使用前にストッパーのロックを解除してください。(P12参照)



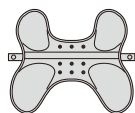
注意

・ご使用前にストッパーのロックを解除してください。(P12参照)

付属品



頭マモールパッド



腰マモールパッド



フットガード
(本体に装着されています)



取扱説明書/保証書
(本書)

警告

・製品が入っていた箱、梱包部材、ポリ袋をお子さまの手の届く所に放置しない。
お子さまがかぶったりして窒息するおそれがあります。

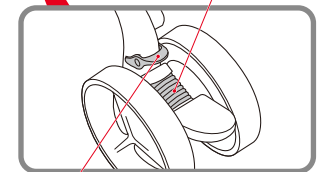
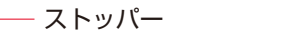
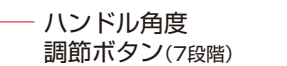
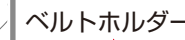
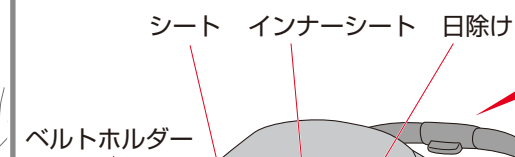
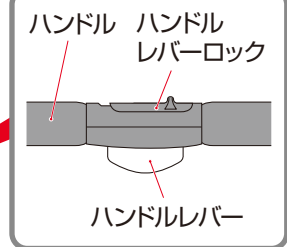
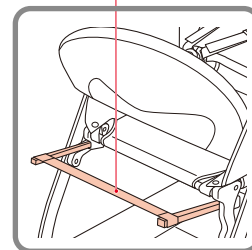
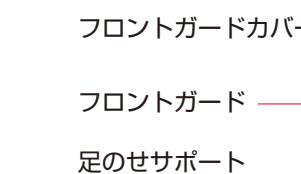
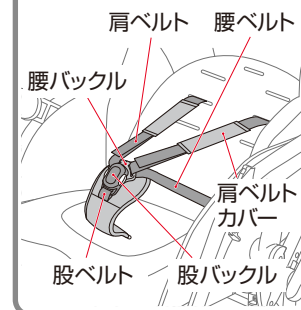
〈製品の特徴〉

- ・ハンドルは背面、対面式です。
- ・前後折りたたみ方式です。
- ・マグネットバックルを使用しています。
- ・車体を折りたたんだ状態で自立します。
- ・フレームには軽量なアルミパイプを使用しています。

各部の名称

〈シートベルト〉

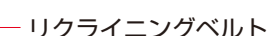
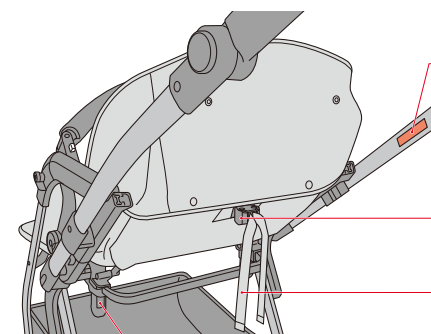
・シートベルトは、肩ベルトと腰ベルト、股ベルトの総称です。



品名・品番 ロット番号シール

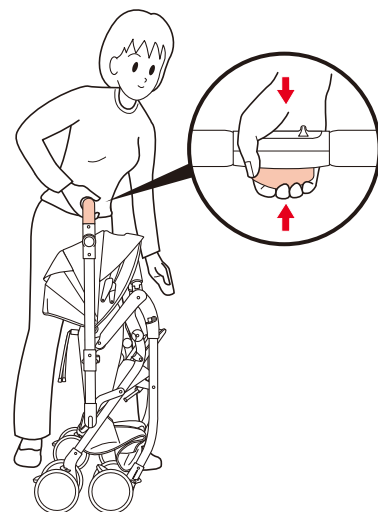
〈保証書記入時に参照ください。〉

〈背もたれ背面〉

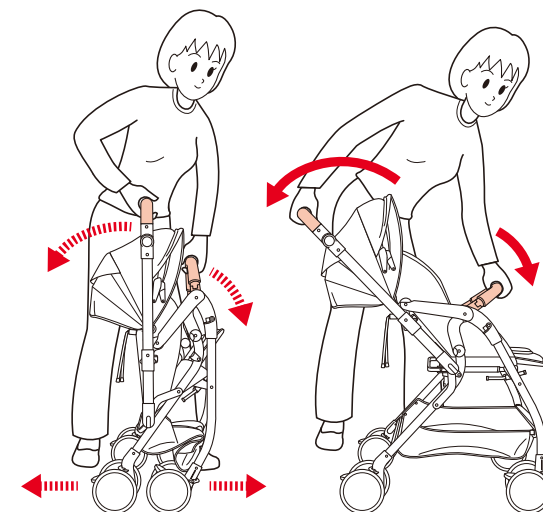


・本ベビーカーは、2通りの開き方ができます。

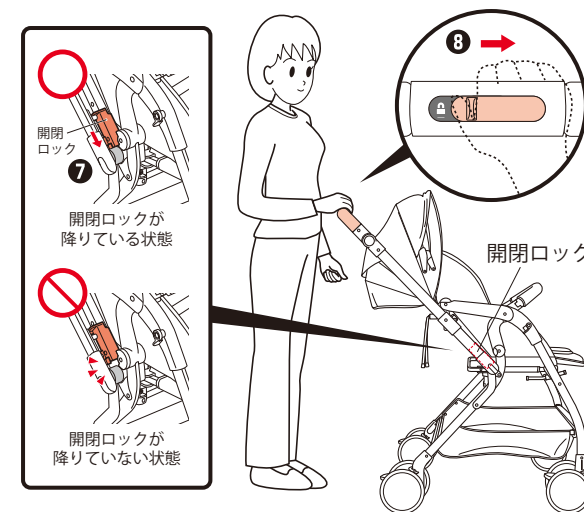
2 両手で開く時



⑤ ハンドルを軽く下に押し付け、ハンドルレバーを握って押し込み、開閉ロックを解除する。



⑥ 握ったまま、もう一方の手でフロントガードを持ち、開く。

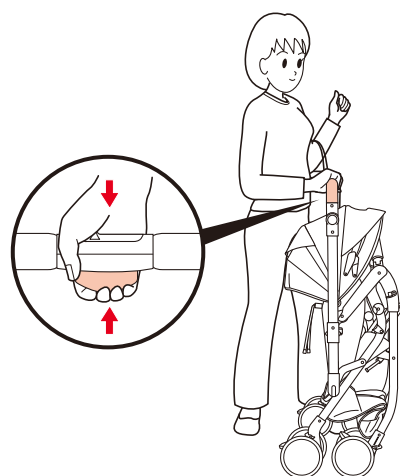


⑦ 開閉ロックが降りていることを確認する。
⑧ ハンドルレバーロックをかける。
(青色が表示されます。)

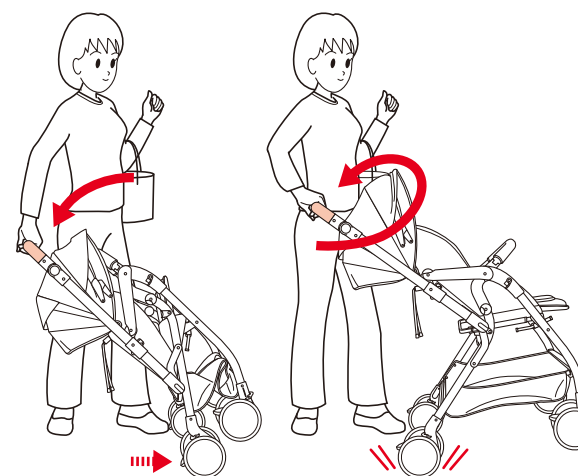
警告

・ご使用時は、開閉ロックが完全に下まで降りていることを確認すること。ベビーカーが折りたたまれ、お子さまが落ちたり、挟まれるおそれがあります。

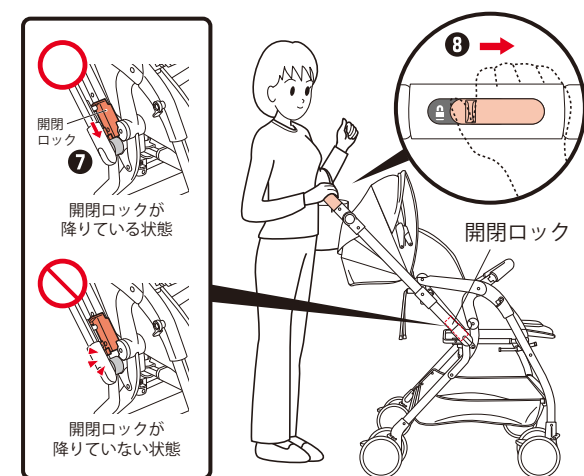
2 片手で開く時



⑤ ハンドルを軽く下に押し付け、ハンドルレバーを握って押し込み、開閉ロックを解除する。



⑥ 握ったまま、ハンドルを後方に倒し、持ち上げながらハンドルを手前に引いて開く。

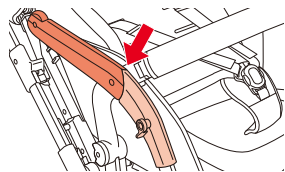


⑦ 開閉ロックが降りていることを確認する。
⑧ ハンドルレバーロックをかける。
(青色が表示されます。)

警告

・開閉操作は、お子さまが接触した状態や近くにいる時には行わない。可動部でお子さまの指や手足を挟んだり、ベビーカーが身体にぶつかるおそれがあります。
・お子さまにベビーカーを操作させない。転倒や思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

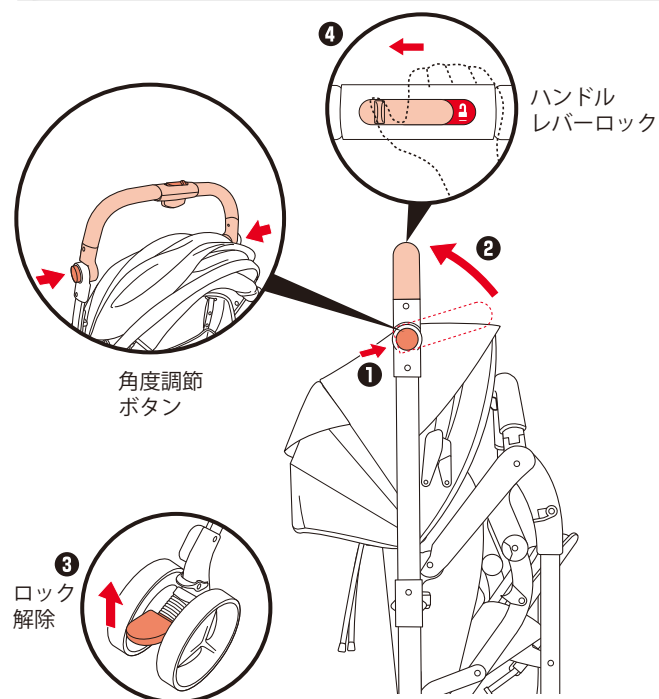
・ベビーカーを開く時は、アームレスト上部に指を近づけない。挟まれるおそれがあります。



お願い

・梱包の関係上、最初はスムーズに開閉しない場合があります。2～3回繰り返して操作してください。

1 開く前に

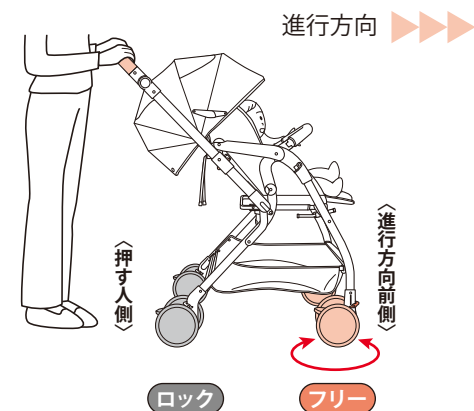


① 両手で左右の角度調節ボタンを押しながら、
② ハンドルをまっすぐに起こす。
③ ストッパーをロック解除する。(P12参照)
④ ハンドルレバーロックを解除する。
(赤色が表示されます。)

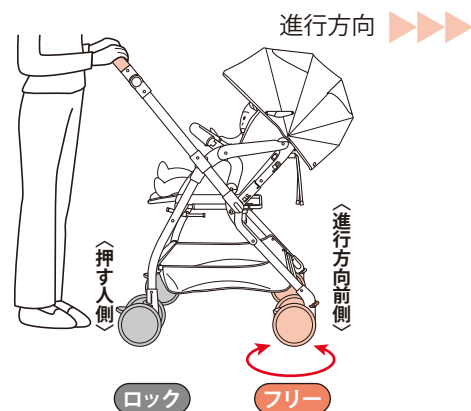
オート4輪について

- ・本製品はハンドルを背面、対面に切替えて使用することができます。
- ・ハンドル切替に連動して、キャスターのロックとフリー(ロック解除)が切り替わります。常に**押す人側**のキャスターがロック、**進行方向前側**のキャスターがフリーになるので、方向転換がスムーズに行えます。

背面(お子さまの後方から押す場合)



対面(お子さまと向かい合って押す場合)

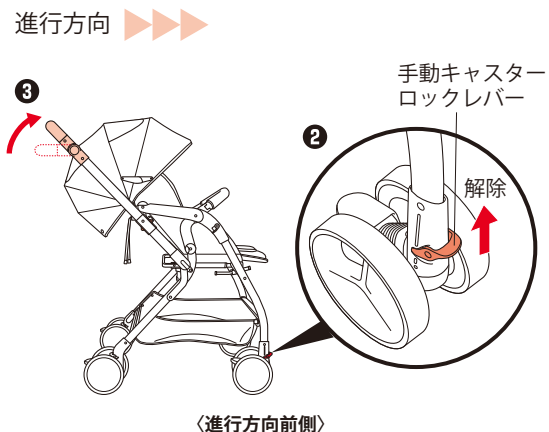


1 準備

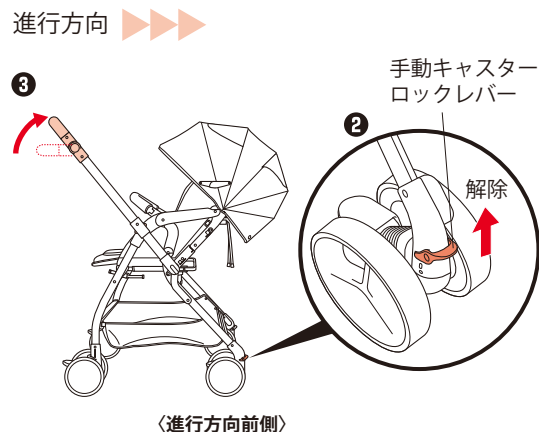


- ・ベビーカーが完全に開いていない状態でハンドル切替を行わない。
- ・ハンドルを切替える前に、必ず進行方向前側の手動キャスターロックレバー(左右)を解除する。解除しないとハンドルを切替えた後に押す人側のキャスターが自動ロックされず、ベビーカーが転倒してお子さまが落ちるおそれがあります。

背面

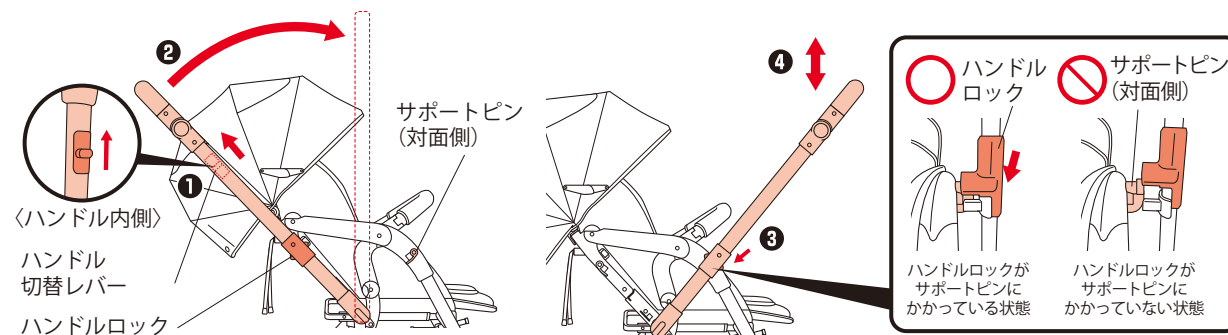


対面



- ①背面から対面への切替えの場合、ベビーカーが完全に開いていることを確認する。(P8参照)
- ②進行方向前側の手動キャスターロックレバー(左右)を上げ、ロック解除にする。
- ③ハンドルをまっすぐに起こす。(P13「ハンドルの角度調節のしかた」参照)

2 ハンドルを切替える



- ①ハンドル切替レバーを左右同時に引き上げながら、
- ②ハンドルの向きを切替える。
- ③ハンドルロック(左右)をサポートピンにかける。
- ④ハンドルを上下に動かし、ロックされたことを確認する。

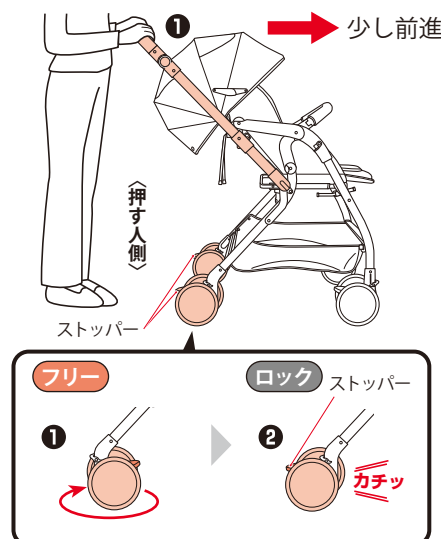
・イラストは『背面から対面』へのハンドル切替を示していますが、『対面から背面』への切替の場合も同様の手順とロックの確認を行ってください。



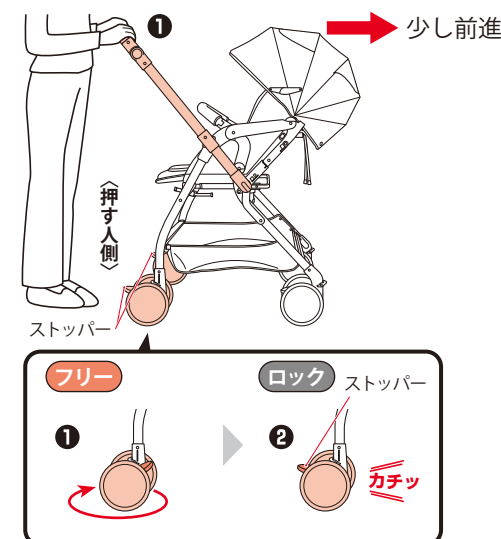
- ・ハンドルの切替操作はベビーカーを停車してから行う。
- ・坂道ではハンドル切替を行わない。
- ・ハンドルロックはサポートピンに左右ともかけ、必ずハンドルを上下に動かしてロックの確認を行うこと。ハンドルロックが正常にかかっていない場合、ベビーカーが転倒するおそれがあります。
- ・ハンドルを切替える時は、お子さまの指や手足を挟まないように注意すること。
- ・ハンドルに荷物を吊るしたりしない。荷物がハンドル切替レバーにあたったりして誤作動を起こすおそれがあります。

3 押す人側のキャスターをロック

背面



対面



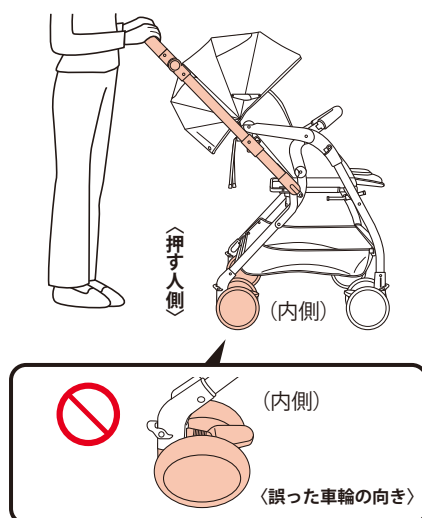
- ①少し前進させて、ストッパーが**押す人側**を向くようにキャスターを回転させる。(左右)
 - ②「カチッ」と音がして、**押す人側**のキャスターが自動ロックされます。
- ・ハンドル切替中と切替直後(上記①②の操作を行うまで)は、全てのキャスターがフリーの状態です。車体不安定になりますので、必ず**押す人側**のキャスターを自動ロックさせてから、使用してください。

(次ページに続く)

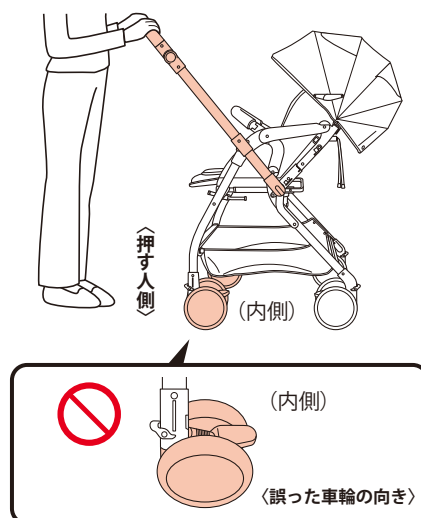
誤ったキャスターロック

- ・押す人側のキャスターが内側を向いてロックされるのは、誤った使用方法です。これは、**手動キャスターロックレバーを解除せずにハンドルを切替えた場合**に起こります。

背面



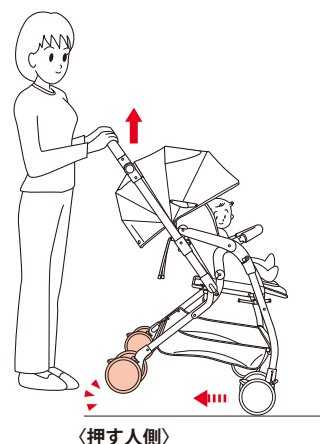
対面



この場合は、**押す人側**の手動キャスターロックレバーを解除してから、再びキャスターを正しい向きにロックさせてください。(P10「押す人側のキャスターをロック」参照)

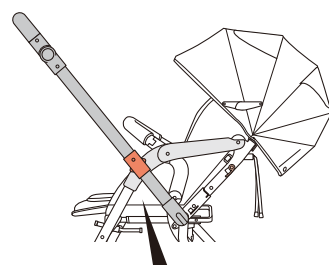
後方に動かす場合

- ・オート4輪のベビーカーは構造上、後方に動かすときに押す人側の車輪が操作しにくくなる場合があります。やむを得ずベビーカーを後方に動かす場合(エレベーターや電車の乗り降りなど)は次のようにしてください。

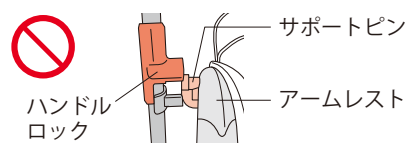


- ハンドルを持ち上げて、**押す人側**の足元にある車輪を軽く浮かせて後方に動かす。

ハンドルを切替える時のご注意



〈誤った切替〉
サポートピンに対してハンドルが外側に傾いた状態で切替えている。



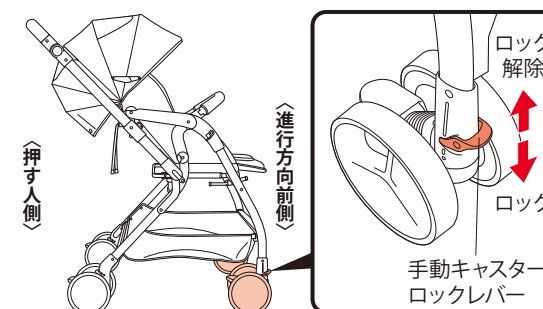
- ハンドルの左右どちらか片側に過剰に力をかけた状態でハンドルを切替えると、ハンドルロックがかからない場合があります。車体(アームレスト)とハンドルが平行になるように動かして切替えてください。

手動キャスターロックレバーの使い方

- ・進行方向前側のキャスターは、手動でロックすることができます。
- ・凸凹道、坂道、傾斜地などの走行には一時的に進行方向前側(左右)のキャスターを手動ロックすると押しやすくなります。
- ・通常の走行時は、手動キャスターロックレバーを解除した状態でご使用ください。

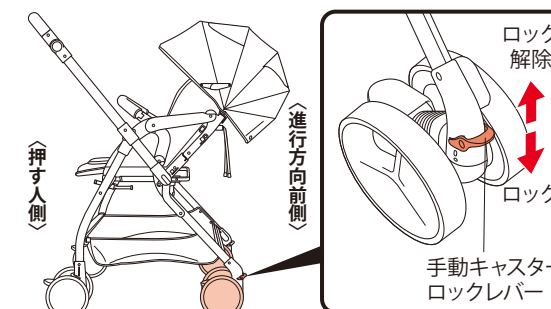
背面

進行方向 ▶▶▶



対面

進行方向 ▶▶▶



- 進行方向前側の手動キャスターロックレバーを下げ、ロックする。(左右)
- 進行方向前側の手動キャスターロックレバーを上げ、ロック解除する。(左右)

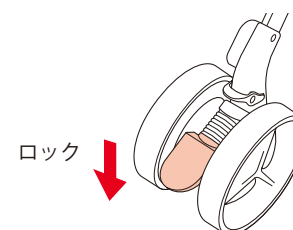
アドバイス 押す人側のキャスターはオート4輪の機能で自動ロックされています。手動キャスターロックレバーでの操作はできません。

ストッパーの使い方

- 警告 お子さまを乗せる時や降ろす時は必ずストッパーを左右共ロックすること。お子さまを乗せた時には、ストッパーを過信しない。路面の状態、構造の機能上、耐久性などから、絶対に動かないようにできるものではありません。ストッパーをロックしていても、お子さまを乗せたままベビーカーから離れない。

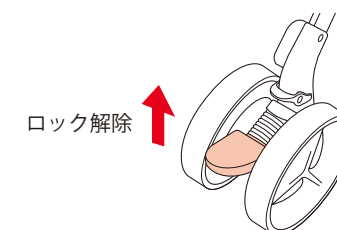
- 注意 お子さまを乗せていない時でも、ベビーカーから離れる場合は、ストッパーを左右共ロックしてください。

〈ストッパーをロックする場合〉



- 1 押す人側の車輪のストッパーを押し下げてロックする。(左右)
- 2 前後に動かしてストッパーのロックがかかっていることを確認する。

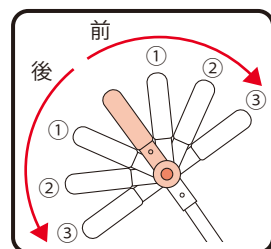
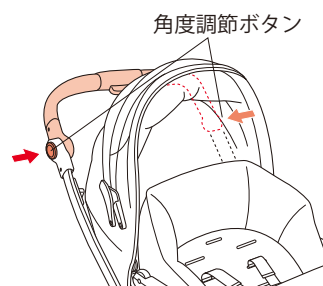
〈ストッパーをロック解除する場合〉



- 車輪のストッパーを押し上げてロック解除する。(左右)

ハンドル角度調節の使い方

〈角度調節のしかた〉

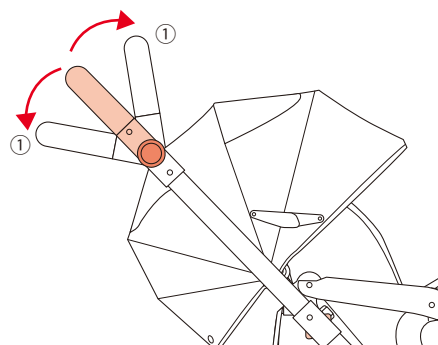


- ①両手で左右の角度調節ボタンを押しながら、ハンドルの角度を調節する。
- ②使用する角度で角度調節ボタンをはなす。

●ご使用例

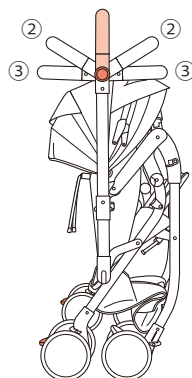
〈走行時〉

- ・ハンドルの角度を変えて、押しやすい高さに調節できます。



- ・ベビーカー走行時は、①までの角度の使用を推奨いたします。

〈収納時〉



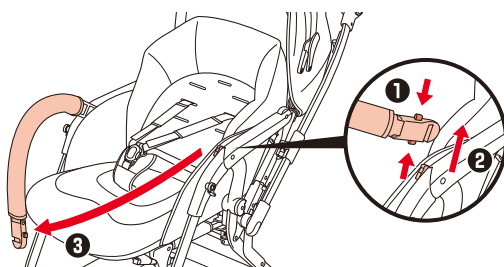
- ・ベビーカーを収納する時は②、③の角度で折りたたんでください。コンパクトになり便利です。

フロントガードの使い方

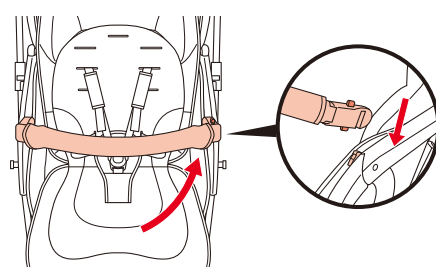


- ・フロントガードを閉じる時は、お子さまの指や手足を挟まないように注意すること。
- ・フロントガードを持って、お子さまを乗せたままの製品を持ち上げたり、引っ張ったりしない。

〈開き方〉



〈閉じ方〉



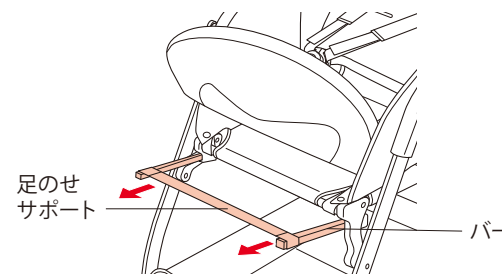
- ①上下のガードボタンを押しながら、
- ②フロントガードを上方向に引き抜く。
- ③フロントガードを下に降ろす。

- フロントガードを差し込む

足のせサポートの使い方

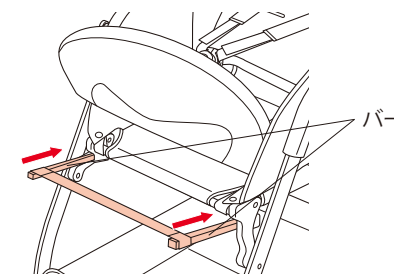
- ・足のせサポートは、背もたれを倒した時などにお子さまを楽な姿勢にすることをサポートします。

〈足のせサポートを使用する場合〉



- シート（クッション部）下にある足のせサポートのバーを引き出す。（左右）
- ・バーが戻らないように最後まで引き出してください。

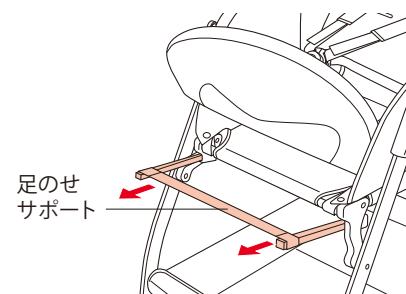
〈足のせサポートを使用しない場合〉



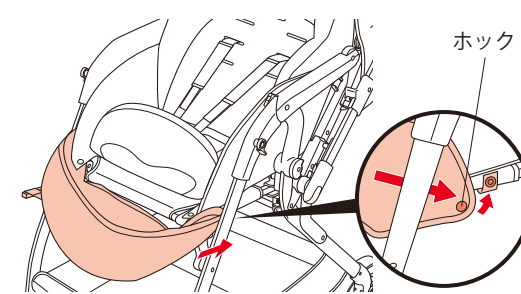
- 足のせサポートのバーを内側に押し込む。（左右）

フットガードの使い方

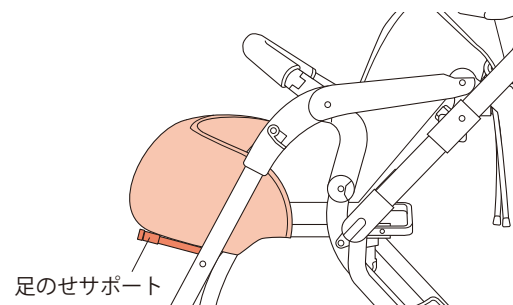
- ・フットガードでお子さまの足元を守ります。7カ月ごろまでお使いいただけます。



- ①シート（クッション部）を持ち上げ、足のせサポートのバーを引き出す。（左右）



- ②フットガードを本体座面脇に差し込み、ホックでとめる。（左右）



- ③フットガードを足のせサポートの上に乗せてください。

※出荷時、フットガードは既に本体にとめた状態です。足のせサポートを引き出し、その上にフットガードを乗せて、形を整えてご使用ください。



フットガードを取り付けたままでもベビーカーを折りたたむことができます。



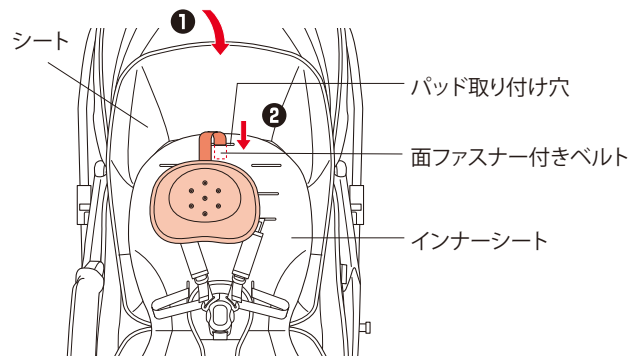
- ・フットガードを使用しない時は、お子さまの手の届かないところに保管する。かぶって遊んだりすると、窒息などのおそれがあります。

パッド類の取り付け方

- ・頭マモールパッド、腰マモールパッドは、ベビーカー内において、お子さまの姿勢を適切に保つことをサポートします。

頭マモールパッド 首すわりの頃(月齢の目安:4カ月頃)までご使用ください。

- ・頭マモールパッドは肩ベルト位置が下段でのみ使用してください。お子さまの発育に合わせて最長7カ月頃まで使用できます。(肩ベルトの高さ調節はP19参照)



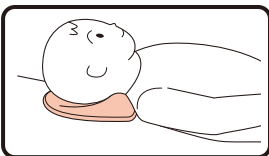
- ① 背もたれを一番倒した状態にする。(P20参照)
- ② インナーシートおよびシートのパッド取り付け穴に面ファスナー付きベルトを通して、シート裏側でとめる。

- ・頭マモールパッドの面ファスナー保護用生地は外してから取り付けてください。
- ・取り外しは逆の手順で行ってください。



・パッドが取り付けにくい場合は、シートの上部を外して、シートの裏側を見ながら取り付けてください。(シートの取り外し方はP26⑥⑦⑧⑨参照)

〈頭マモールパッドの取り付け位置について〉



- パッド下部のふくらみがお子さまの首の後ろに合うように取り付けてください。
- ※パッド下部のふくらみの位置がお子さまの首の後ろに合わなくなった時は取り外してください。

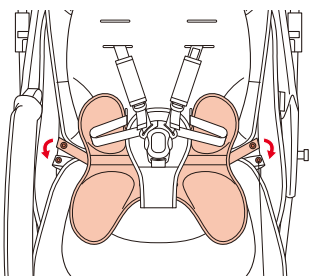


・頭マモールパッドは、肩ベルト位置が中段や上段の時は使用できません。

また、パッド下部のふくらみの位置がお子さまの首の後ろに合わなくなった時は取り外す。

腰マモールパッド (1カ月～36カ月※まで使用できます。)

※36カ月未満でも、お子さまの体格によっては腰マモールパッドが合わなくなることがあります。その時は取り外してください。

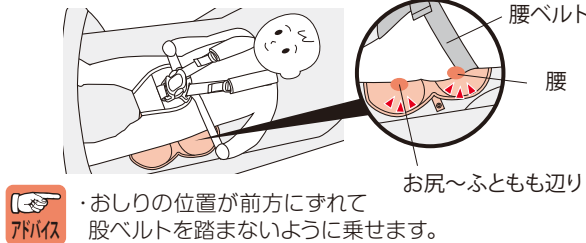
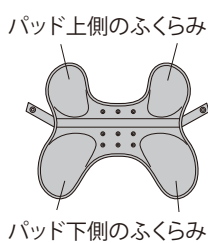


インナーシート横側ホック

- 腰マモールパッド横側のホックをインナーシート横側のホックにとめる。(左右)

〈腰マモールパッドへの乗せ位置について〉

- ・パッド上側のふくらみが腰
 - ・パッド下側のふくらみがお尻～ふともも辺りに接するように乗せてください。
- 上下のふくらみでお子さまの骨盤の四隅を支えるイメージです。



・おしりの位置が前方にずれて股ベルトを踏まないように乗せます。

シートベルトの使い方

バックルについて

- ・本製品のシートベルトのバックル(股バックルおよび腰バックル)には、マグネットが使用されています。



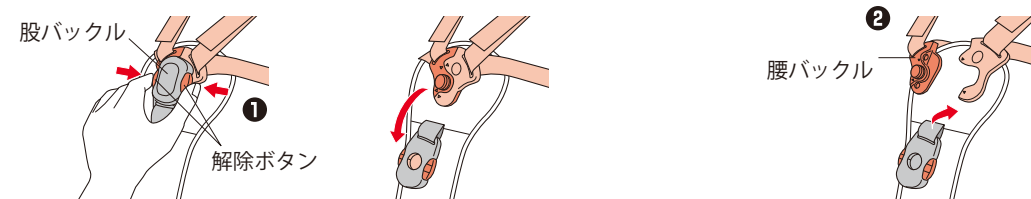
バックルのマグネットがペースメーカの作動に影響を及ぼすおそれがあります。

- ・ペースメーカをご使用のお子さまを本製品にさせないでください。
- ・ペースメーカをご使用の方がベビーカーを操作される場合は、ペースメーカの植込み部位をバックルに近づけないでください。



- ・クレジットカードなど、マグネットの影響を受ける可能性のあるものをバックル付近に近づけないでください。
- ・シートベルトを外した状態でベビーカーを折りたたんだり、ベビーカーを放置したりしないでください。バックルが破損したり、バックルのマグネット部分に異物が付着し確実にロックできなくなったりするおそれがあります。

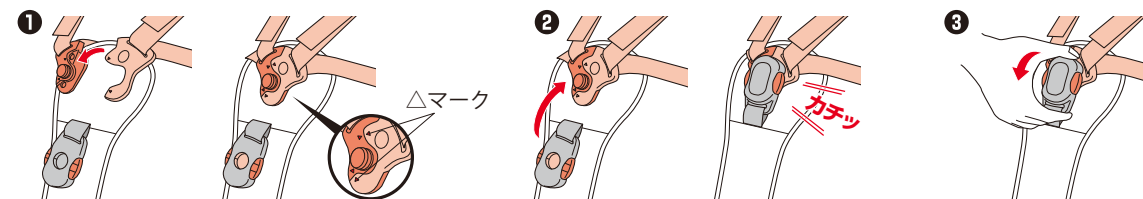
シートベルトの外し方



- ① 股バックル両脇の解除ボタンを押して、股バックルを外す。

- ② 腰バックルを前後方向に外す。

シートベルトの締め方(バックルのとめ方)



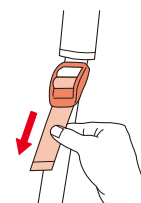
- ① △マーク同士が向き合う位置に合わせて左右の腰バックルを重ねる。(マグネットで腰バックル同士が引き合います。)

- ② 股バックルを腰バックルの上に重ねる。(マグネットで引き合い、「カチッ」と音がしてロックされます。)

- ③ 股バックルを引っ張って外れないことを確認する。

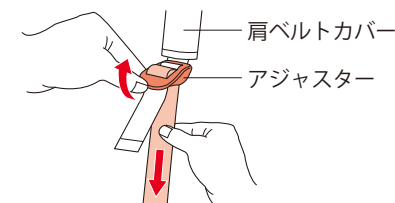
シートベルトの長さ調節

〈締める時〉

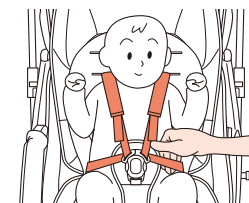


- 肩ベルトの端部を引き、長さを調節する。

〈ゆるめる時〉

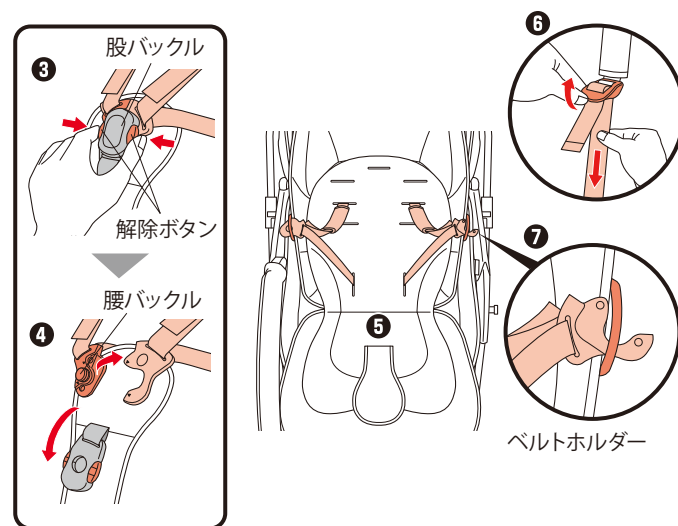


- 一方の手でアジャスターを上を引き上げながら、もう一方の手でベルトを引く。
- ・アジャスターの操作は肩ベルトカバーをずらして行ってください。



- ・腰ベルトの長さは腰ベルトとお子さまの間に大人の指が4本入る程度が適当です。

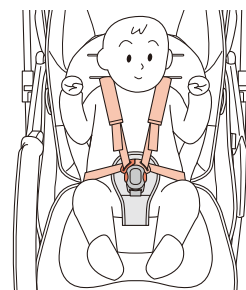
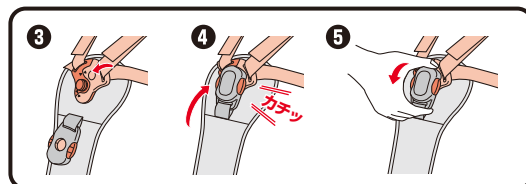
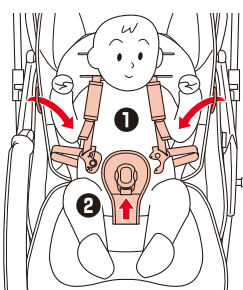
1 準備



- ①ストッパーをロックする。(左右)
- ②フロントガードを開く。(P13 参照)

- ③股バックル両脇の解除ボタンを押して、股バックルを外す。
- ④腰バックルを前後方向に外す。
- ⑤股ベルトを前側に倒す。
- ⑥シートベルトをゆるめる。(P16参照)
- ⑦腰バックルをベルトホルダーに掛ける。(左右)

2 お子さまを乗せる



- ①お子さまを乗せる。
- ②お子さまの腕を肩ベルトに通し、股ベルトを引き上げる。
- ③△マーク同士が向き合う位置に合わせて左右の腰バックルを重ねる。(マグネットで腰バックル同士が引き合います。)
- ④股バックルを腰バックルの上に重ねる。(マグネットで引き合い、「カチッ」と音がしてロックされます。)
- ⑤股バックルを引っ張って外れないことを確認する。



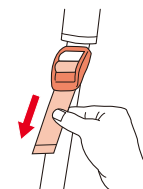
・お子さまの股間を股ベルトの位置に合わせて乗せること。頭側に寄りすぎるとベビーカーが後方に転倒するおそれがあります。

・バックルをとめる時に、お子さまの手足や衣服を挟まないように注意してください。

・シートベルトを締めた後は、股バックルを引っ張って外れないことを確認する。締め方が不完全な場合、使用中に外れてお子さまが落ち、けがをするおそれがあります。

・シートベルトを締めていても、お子さまから目を離さない。お子さまが立ち上がって落ちたりするおそれや、予期せぬ行動が思わぬ事故につながるおそれがあります。

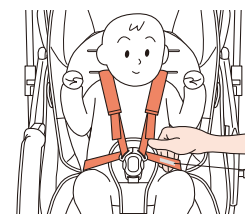
3 ベルトの調節と確認



- 肩ベルトの端部を引き、シートベルトを締める。(左右)

〈シートベルトの確認〉

- ・肩ベルトおよび腰ベルトがねじれていないか確認してください。
- ・腰ベルトの長さは腰ベルトとお子さまの間に大人の指が4本入る程度が適当です。



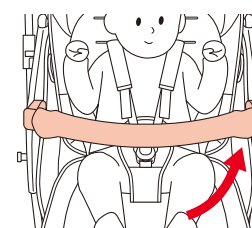
- ・装着時に腰ベルトの警告ラベルが表に来るようにして使用してください。

警告ラベル

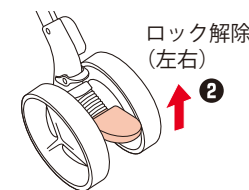


- ・シートベルトは必ず正しく装着し、お子さまに合わせて長さを調節すること。装着が不完全な場合、お子さまが落ちたり、お子さまの首にシートベルトが巻き付き窒息するおそれがあります。
- ・リクライニングの角度を調節するたびに、シートベルトの長さを調節する。
- ・フロントガードを閉じる時にお子さまの指を挟まないよう注意すること。
- ・フロントガードを装着した後、確実にロックされているか引っ張り、確認する。
- ・お子さまを乗せたまま、フロントガードを持ち上げない。

4 最後に

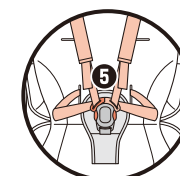
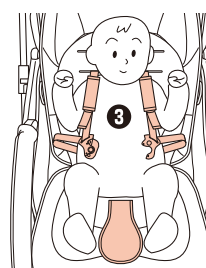
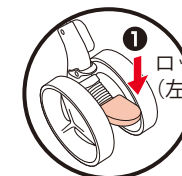
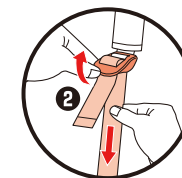


フロントガードを差し込む。



- ①フロントガードを閉じて
- ②ストッパーをロック解除する。

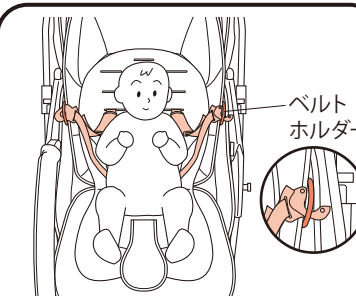
お子さまの降ろし方



- ①ストッパーをロックする。(左右)
- ②シートベルトをゆるめる。(P16参照)
- ③シートベルトを外す。(P16参照)
- ④お子さまを抱き上げる。
- ⑤再びバックルをとめる。



・ベルトをゆるめてからお子さまを降ろすと、お子さまの腕に負担をかけず、次にお子さまを乗せる時にも乗せやすくなります。



- ・首すわり前のお子さまを両手で抱いて乗せる場合、事前にバックルを左右のベルトホルダーに掛けておくと便利です。

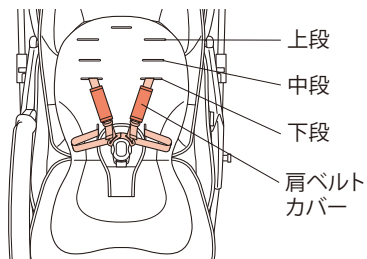
肩ベルトの高さ調節



・お子さまの成長に合わせて肩ベルトの高さを調節してください。

〈肩ベルト位置〉

- ・箱から取り出した状態では、下段にセットされています。



〈肩ベルトの目安〉

- ・肩の位置より下段に通す。



・肩ベルトがねじれていないか確認してください。

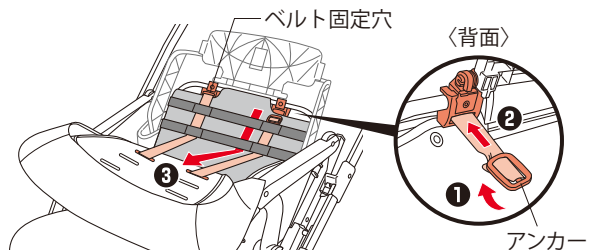
- ・肩ベルトの位置は以下の3段階に調節してください。

月齢(体格)の目安	肩ベルト通し穴位置
18カ月～36カ月	上 段
7カ月～18カ月	中 段
1カ月～7カ月	下 段

※上記表示は目安であり個人差があります。

肩ベルトの高さ調節のしかた

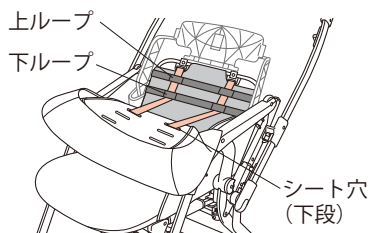
- ・シートベルトをゆるめる。(P16参照)
- ・肩ベルトカバーをずらす。
- ・背もたれ横側(左右)、後側(2カ所)のホックを外し、シートをめくる。(P26参照)



- ① 肩ベルトのアンカーをひねる。
- ② ベルト固定穴から肩ベルトを抜く。(左右)
- ③ シートおよびインナーシートの肩ベルト通し穴からアンカー部分を引き抜く。

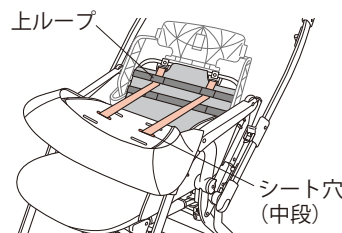
- ④ 使用する肩ベルトの高さの肩ベルト通し穴に通す。

〈下段を使用する時〉



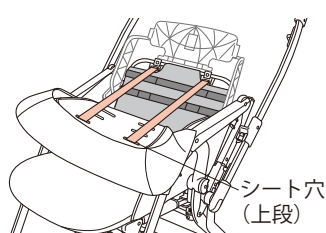
- 上下ループとシート穴(下段)に通す。

〈中段を使用する時〉

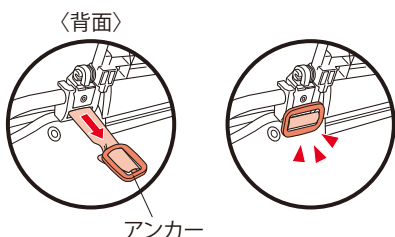


- 上ループとシート穴(中段)に通す。

〈上段を使用する時〉



- シート穴(上段)に通す。



- ⑤ 肩ベルトアンカーを固定穴に通して固定する。固定後、シートベルトを2～3回引っ張り、外れないことを確認してください。

- ・シートを背もたれにかぶせ、背もたれ後側(2カ所)、横側(左右)のホックをとめる。(P30参照)
- ・肩ベルトカバーをもとの位置に戻す。
- ・シートベルトを締める。(P16参照)

リクライニングの角度調節

- ・リクライニングの角度調節機能は、お子さまの姿勢を快適に保つことをサポートします。
- ・一番倒した状態では、お子さまが乗って平らになるように設計されています。
- ・背もたれを一番倒した状態にすると、ヘッドレストが起き上がります。

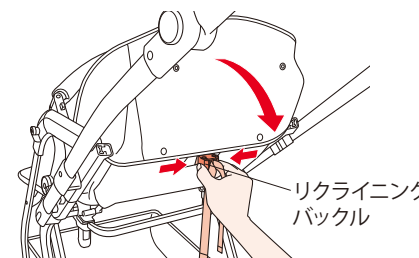
〈リクライニング位置の目安〉

月齢(体格)の目安	リクライニングの位置
1カ月～首がすわるまで	一番倒した状態
首がすわってから、ひとり座りできるまで	一番倒した状態～中間位置
ひとり座りできてから	一番倒した状態～一番起こした状態

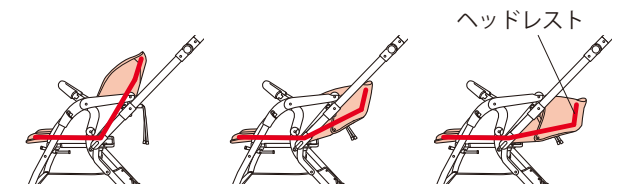
※上記表示は目安であり個人差があります。

背もたれを倒す時

- ・シートベルトをゆるめる。(P16参照)



- リクライニングバックルを押し込みながら背もたれを倒し、角度を調節する。



- ・リクライニング調節後、シートベルトの長さを調節する。(P16参照)



- ・お子さまを乗せた状態で背もたれを倒す時はシートベルトをゆるめてから行う。
- ・リクライニングの角度を調節するたびに、シートベルトの長さを調節する。シートベルトがゆるい場合は、締めていても立ち上がり、お子さまが落下するおそれがあります。



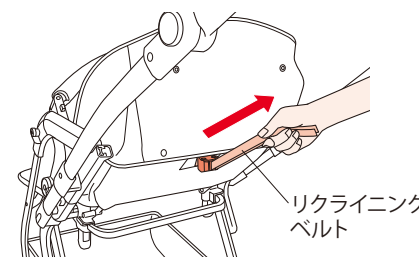
- ・ベビーカーを押しながらリクライニングの調節をしない。
- ・お子さまを乗せたままリクライニング調節をする時は、お子さまの体重を支え、急に角度が変わらないように注意する。
- ・ひとり座りができないお子さまは、背もたれを倒して使用する。



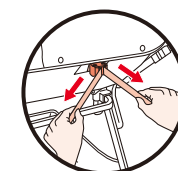
- ・ひとり座りができるお子さまで、ヘッドレストの位置に頭がくる場合には、背もたれを倒した時に無理な姿勢になりますので、無理のない姿勢になるまで、リクライニング角度を調節してください。



背もたれを起こす時



- ・リクライニングベルトを過度に引きすぎない。本体や部品が変形したり、破損するなどして思わぬ事故の原因になるおそれがあります。



- ・リクライニングベルトを左右に引いても背もたれを起こすことができます。その場合は、ベルトは片側ずつ引かず、左右同時に引いてください。



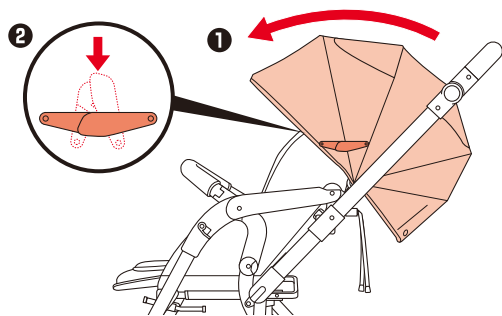
- ・お子さまの体重が背もたれにかかった状態では、起こすことはできません。

日除けの使い方



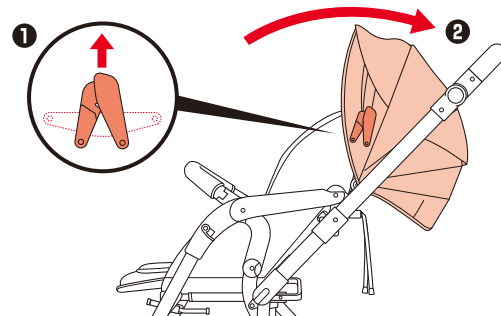
・日除けを開いたり折りたたんだりする時は、お子さまが接触した状態では行わない。
可動部でお子さまの指や手を挟むおそれがあります。

開き方



- ① 日除けを前方に開く。
- ② 日除けレバーをロックする。(左右)

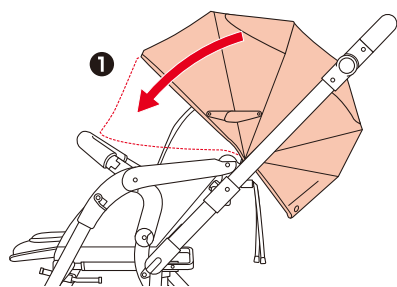
閉じ方



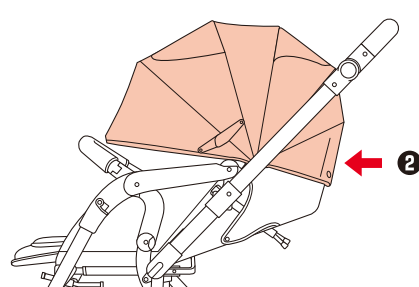
- ① 日除けレバーを折りたたむ。(左右)
- ② 日除けを閉じる。

日除けの角度調節

・背もたれを倒した時や日差しの低い時など日除けの角度を調節できます。

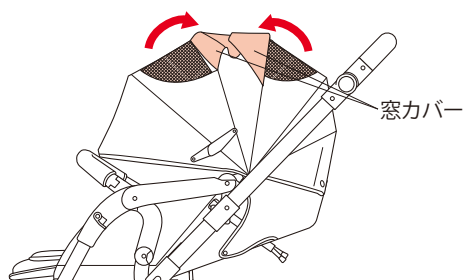


- ① 日除けを開いた状態で前方向に引き、使用する位置でとめる。



- ② 背もたれを倒した時は、日除けのホックをヘッドレスト後側のホックにとめる。(左右)

窓カバーの開き方

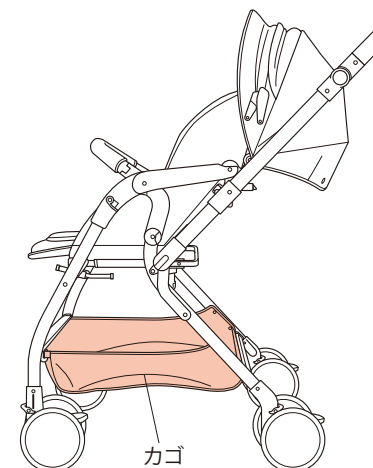


・窓カバーを開けると、窓からお子さまの様子を見ることができます。

カゴの使い方



・カゴには鋭利な形状をした物を入れない。カゴが損傷することがあります。
・重量5kg以上の荷物を入れない。
・ベビーカーを折りたたむ時は荷物を取り出す。
・カゴには貴重品などを入れない。



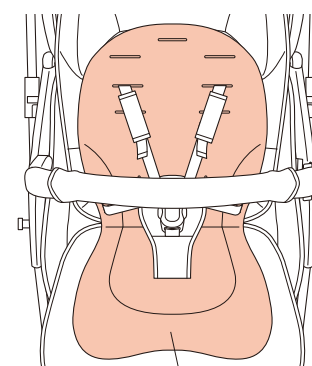
・カゴは取り外さないでください。



・荷物はできるだけカゴ底に均等に荷重が加わるように載せてください。

インナーシートの使い方

・インナーシートは裏面も表面と同様にお使いいただけます。お好みに合わせてご使用ください。



インナーシート

- ・インナーシートの取り外しは、P26～27「シートの取り外し方」を参照ください。
- ・インナーシートの取り付けは、P28～30「シートの取り付け方」を参照ください。

・インナーシートを外した状態ではご使用になれません。必ず取り付けてご使用ください。

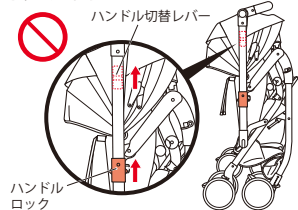


・開閉操作は、お子さまが接触した状態や近くにいる時には行わない。可動部でお子さまの指や手足を挟んだり、ベビーカーが身体にぶつかるなどしてけがをするおそれがあります。
・お子さまにベビーカーを操作させない。転倒や思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



・シートベルトのバックルをとめてからベビーカーを折りたたむこと。シートベルトが開閉ロック部分に挟まってベビーカーが折りたためなくなったり、バックル破損やバックルのマグネット部分への異物の付着のおそれがあります。

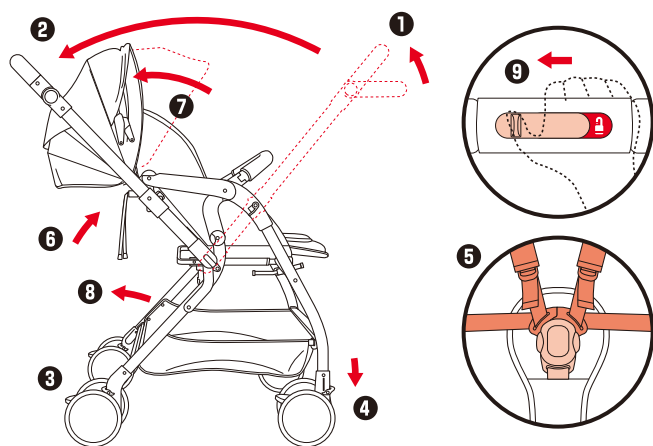
・ベビーカーを折りたたんだ状態で、ハンドル切替レバーやハンドルロックを引き上げないでください。ハンドルロックが解除されベビーカーを開けなくなるおそれがあります。



お願い

・梱包の関係上、最初はスムーズに開閉しない場合があります。2～3回繰り返して操作してください。

1 折りたたむ前に



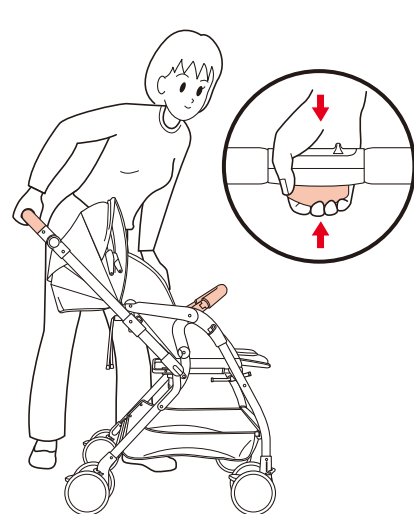
- ① ハンドル角度をまっすぐに起こす。(P13参照)
- ② ハンドルを背面に戻す。(P9、10参照)
- ③ 少し前進させ、押す人側のキャスターが自動でロックされていることを確認する。(P10参照)
- ④ 進行方向前側の左右の手動キャスターロックレバーをロックする。(P12参照)
- ⑤ バックルをとめる。(P16参照)
- ⑥ 背もたれを起こす。(P20参照)
- ⑦ 日除けを閉じる。(P21参照)
- ⑧ カゴから荷物を取り出す。
- ⑨ ハンドルレバーロックを解除する。
(赤色が表示されます。)



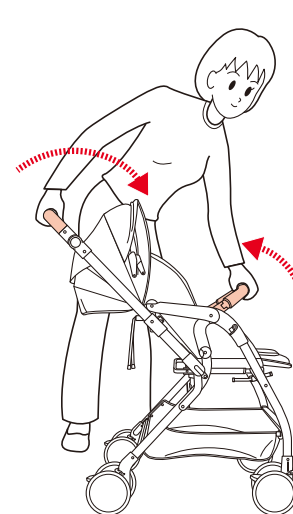
・再びベビーカーを使用する時は、進行方向前側の左右の手動キャスターを解除してください。

・本ベビーカーは、2通りの 折りたたみ方ができます。

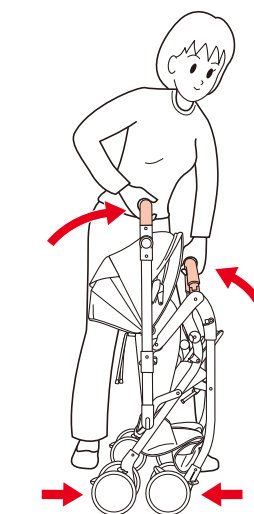
2 両手で折りたたむ時



- ⑩ ハンドルレバーを握って押し込み、開閉ロックを解除する。



- ⑪ 握ったまま、もう一方の手でフロントガードを持ち、折りたたむ。

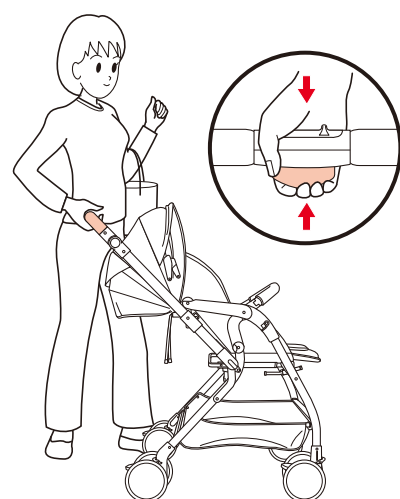


- ⑫ ハンドルレバーロックをかける。
(青色が表示されます。)

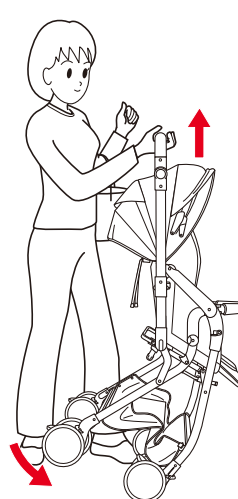


・折りたたんだ後、ハンドルを折り曲げると低くなり、収納する時に便利です。(P13参照)

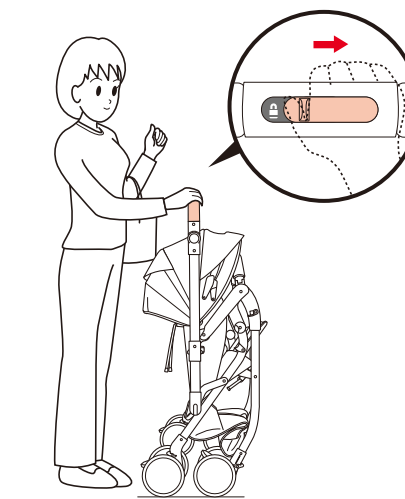
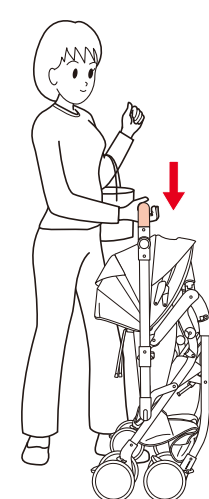
2 片手で折りたたむ時



- ⑩ ハンドルレバーを握って押し込み、開閉ロックを解除する。

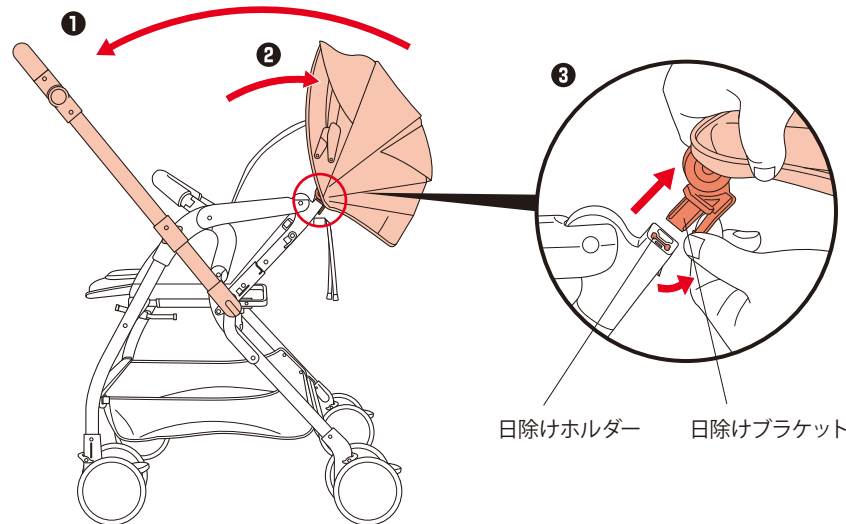


- ⑪ 握ったまま、ハンドルを持ち上げ、ハンドルを降ろして折りたたむ。



- ⑫ ハンドルレバーロックをかける。
(青色が表示されます。)

日除けの取り外し方

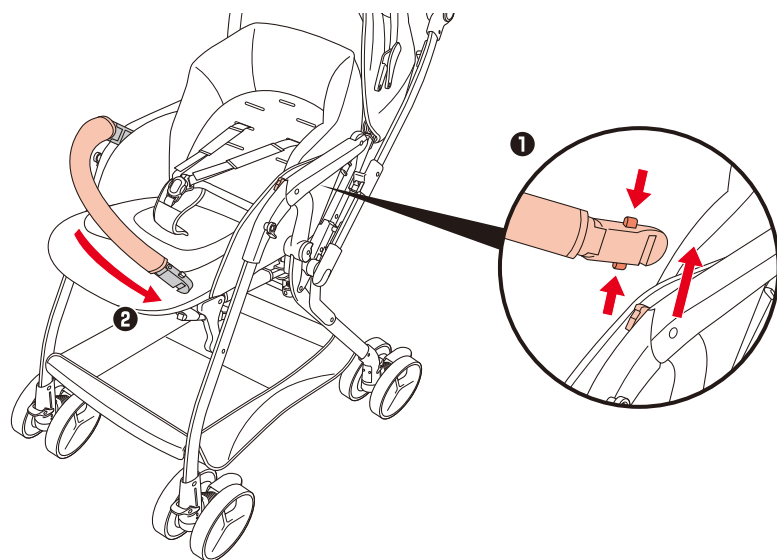


日除けホルダー 日除けブラケット

- ① ハンドルを対面に切替える。(P9、P10参照)
- ② 日除けを閉じる。(P21参照)

- ③ 日除けブラケットの下側のツメを指先で手前に引きながら、日除けホルダーから引き抜く。(左右)

フロントガードカバーの取り外し方



- ① フロントガードを開く。(P13参照)

- ② フロントガードカバーを抜き取る。

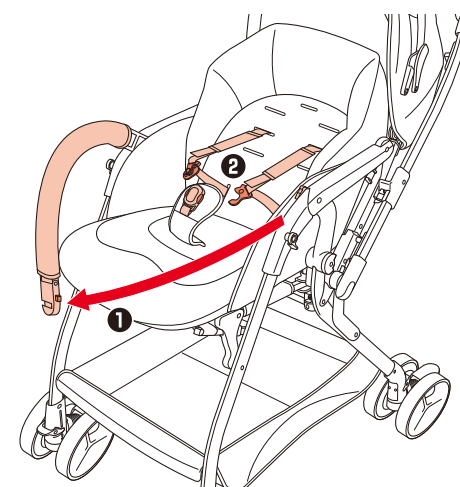
シートの取り外し方



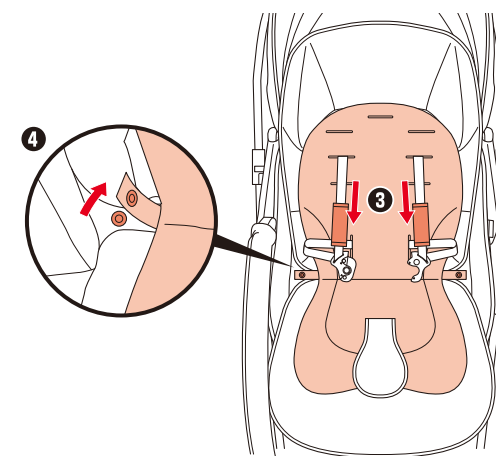
・シートを外した状態で使用しない。ベビーカーが破損し事故やけがにつながったり、思わぬ事故の原因になるおそれがあります。

お願い

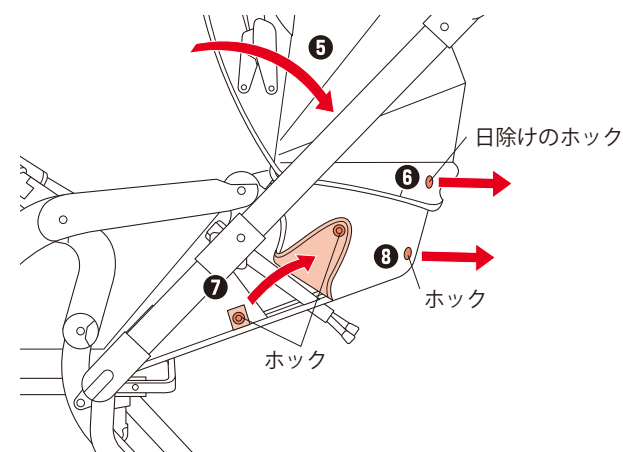
- ・シート本体の取り外し、取り付け作業により、爪が傷つくおそれがありますので、ご注意ください。
- ・頭マモールパッド、腰マモールパッドを使用している場合は取り外してください。



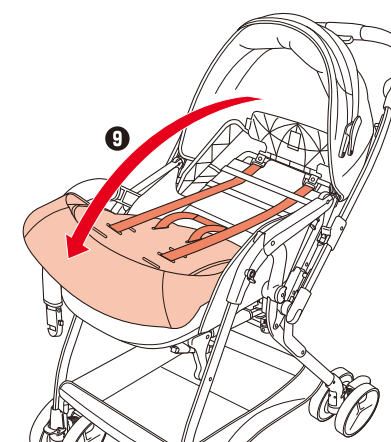
- ① フロントガードを開く。(P13参照)
- ② シートベルトを外してゆるめる。(P16参照)



- ③ 肩ベルトカバーをずらす。
- ④ インナーシートのホックを外す。(左右)



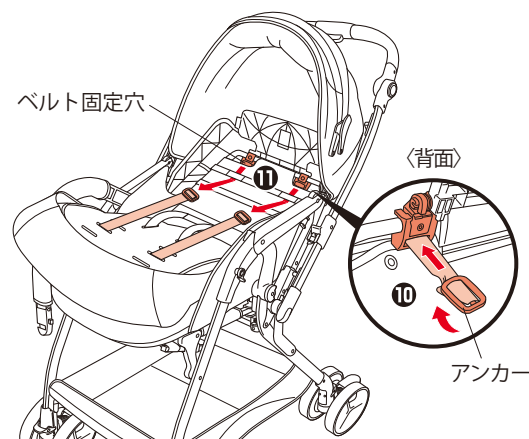
- ⑤ 背もたれを倒す。(P20参照)
- ⑥ ヘッドレスト後側の日除けのホックを外す。(左右)
- ⑦ 背もたれ横側のホックを外す。(左右)
- ⑧ 背もたれ後側のホックを外す。(2カ所)



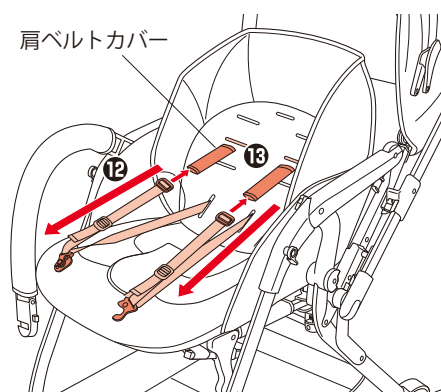
- ⑨ シートを背もたれ側からめくる。

〈次ページに続く〉

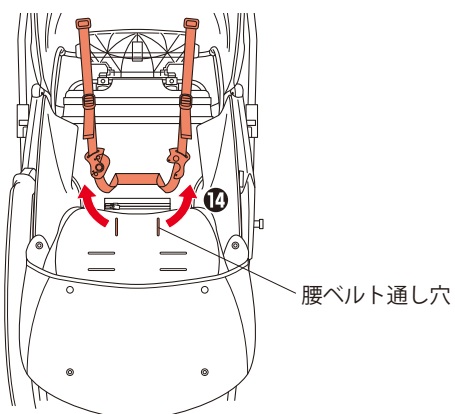
シートの取り外し方(つづき)



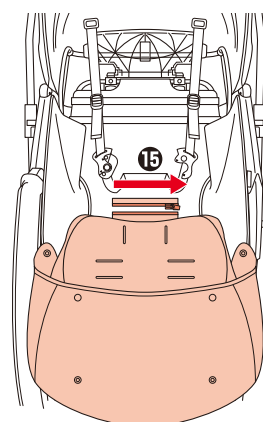
- ⑩肩ベルトのアンカーをひねる。
⑪ベルト固定穴から肩ベルトを抜く。(左右)



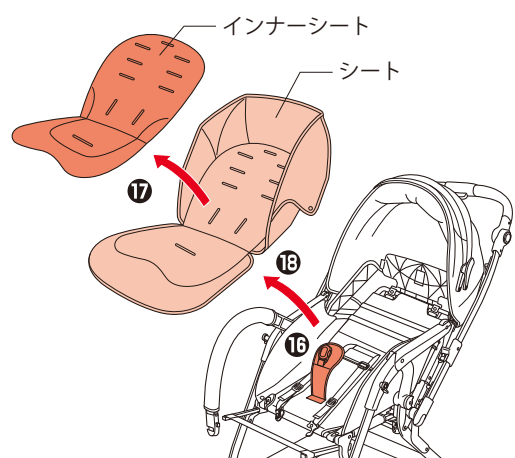
- ⑫シートとインナーシートの肩ベルト通し穴から、ベルト端部(アンカー部)を引き抜く。(左右)
⑬肩ベルトカバーを引き抜く。(左右)



- ⑭シートの腰ベルト通し穴から、肩ベルト全体を引き抜く。(左右)



- ⑮腰部のファスナーを外す。

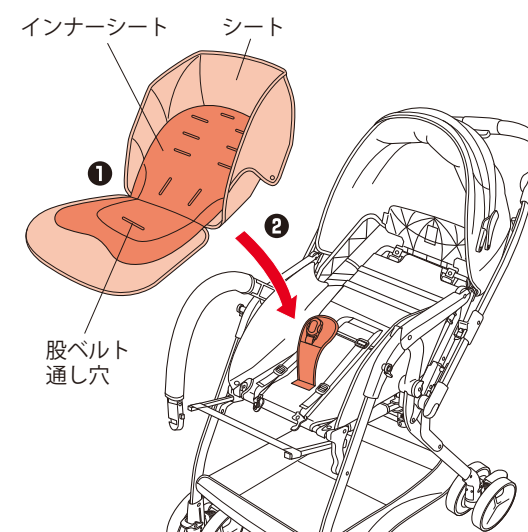


- ⑯股ベルトをインナーシートと、シートから引き抜く。
⑰インナーシートを取り外す。
⑱シートを取り外す。

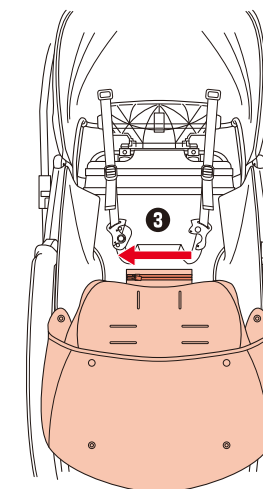
シートの取り付け方

・インナーシートは必ず取り付けてご使用ください。

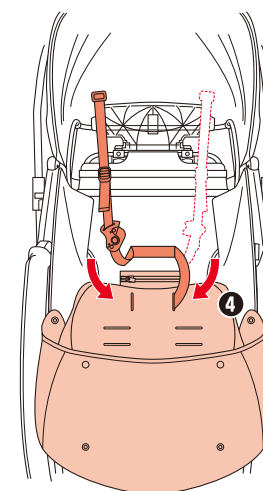
お願い ・シート本体の取り外し、取り付け作業により、爪が傷つくおそれがありますので、ご注意ください。



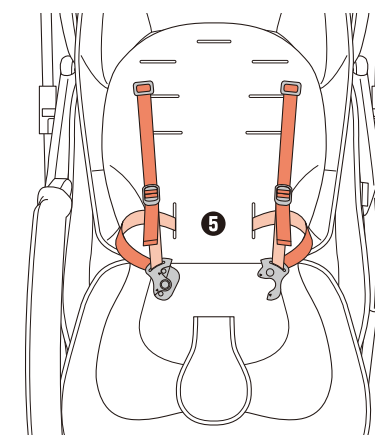
- ①インナーシートとシートの股ベルト通し穴を合わせて重ねる。
②股ベルトを通し穴に通す。



- ③腰部のファスナーをしめる。

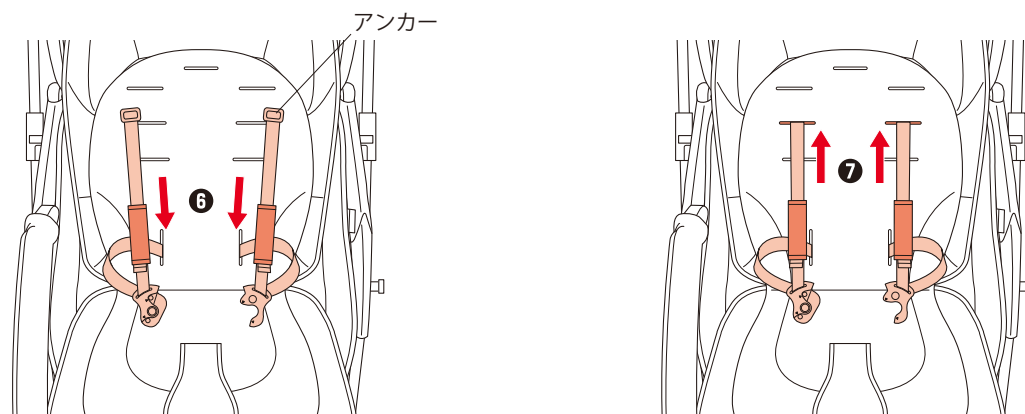


- ④シート裏面から、シートとインナーシートの腰ベルト通し穴にシートベルトを通す。



- ⑤肩ベルトを正面側にすべて引き出し、ねじれないか確認する。

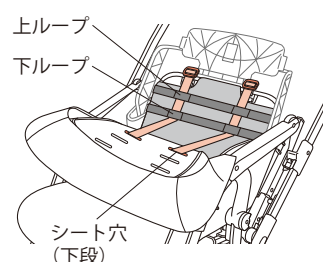
シートの取り付け方(つづき)



⑥ 肩ベルトのアンカー部分から、肩ベルトカバーを通す。(左右)

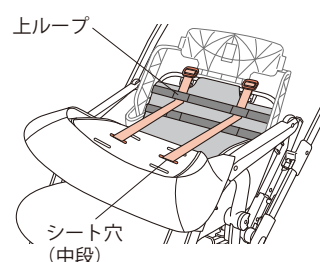
⑦ 使用する高さの肩ベルト通し穴に肩ベルトを通す。(左右)

〈下段を使用する時〉



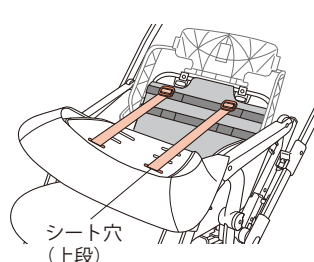
・シート穴(下段)と上下ループに通す。

〈中段を使用する時〉



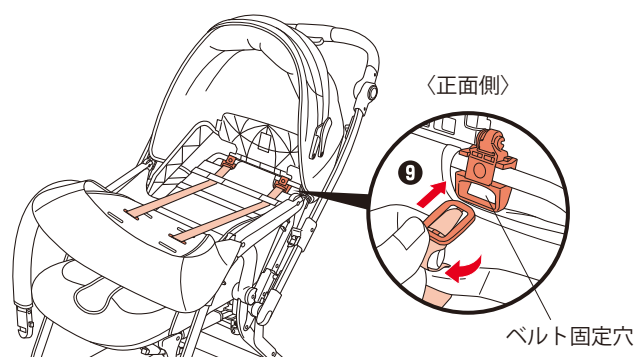
・シート穴(中段)と上ループに通す。

〈上段を使用する時〉

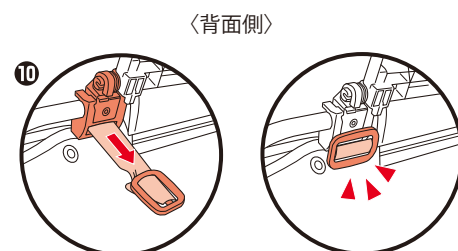


・シート穴(上段)に通す。

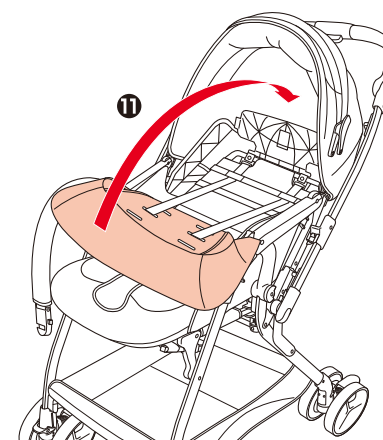
⑧ 各々の肩ベルト高さに合わせて、背もたれのループにベルトを通す。(左右)



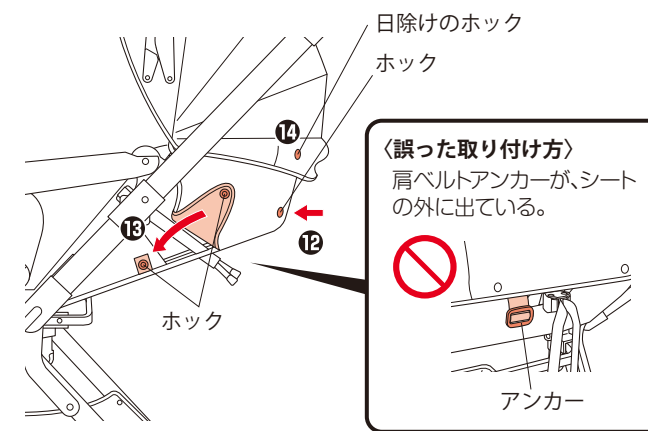
⑨ アンカーをひねり、肩ベルト固定穴に通す。(左右)



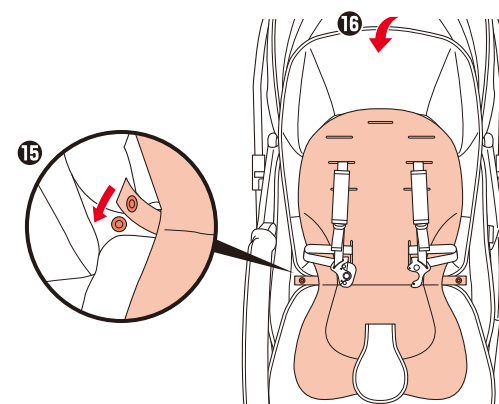
⑩ 背面側でアンカーを起こし固定する。(左右)
固定後、シートベルトを2～3回引っ張り、外れないことを確認してください。



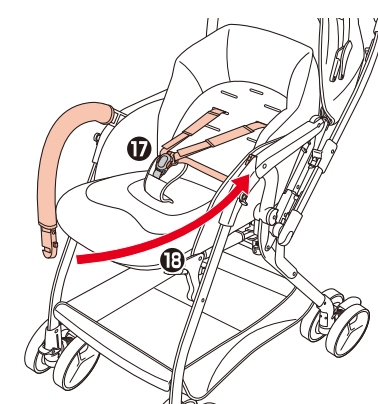
⑪ シートを背もたれにかぶせる。



⑫ 背もたれ後側のホックをとめる。(2カ所)
・肩ベルトアンカーが、シートの外に出ないようにしてとめる。
⑬ 背もたれ横側のホックをとめる。(左右)
⑭ 日除けのホックをヘッドレスト後側にとめる。(左右)



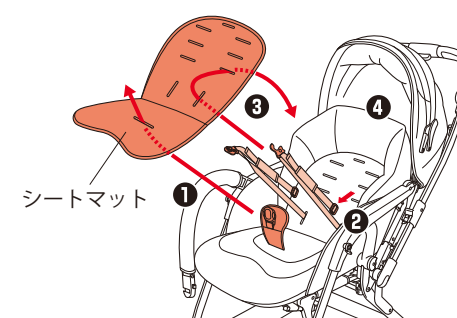
⑮ インナーシートのホックをとめる。(左右)
⑯ 背もたれを起こす。



⑰ シートベルトのバックルをとめる。
⑱ フロントガードを取り付ける。

オプション品の取り付け方

・ベビーカーに別売のシートマットやフットマフなどのオプション品を取り付ける場合は、下記のように取り付けます。



① 股ベルトをオプション品の股ベルト通し穴に通す。
② P26～27「シートの取り外し方」の①～⑫までの手順で肩ベルト端部(アンカー部)をシートから引き抜き、
③ 肩ベルト端部(アンカー部)をオプション品の腰ベルト通し穴から肩ベルト通し穴へ通す。
④ P28～30「シートの取り付け方」の⑦～⑱の手順で肩ベルトのアンカーを固定し、シートを背もたれにかぶせてとめる。

縫製品の洗浄方法

〈シート、肩ベルトカバー、頭モールパッド、腰モールパッドの洗浄について〉

・以下の点に注意して洗濯してください。



※ねじり又は絞り禁止

〈インナーシート、フットガード、フロントガードカバーの洗浄について〉

・以下の点に注意して洗濯してください。



※洗濯ネット使用、ねじり又は絞り禁止



・縫製品を屋外で干す時は、日陰の平干しにしてください。
・アルカリ性洗剤、酸性洗剤、塩素系漂白剤を使用しないでください。

〈日除け、肩ベルト（腰ベルト）、股ベルト、カゴの洗浄について〉

・丸洗いせずに、以下の要領で洗浄してください。

●水溶性の汚れ（果汁、ヨダレ、オシッコなど）の場合

40℃前後の湯にタオルを浸し、軽く絞って汚れた所を十分に洗います。その後、乾いたタオルなどで十分に水分を取って日陰で乾燥させます。

●非水溶性の汚れ（牛乳、油脂、マヨネーズなど）の場合

中性洗剤を40℃前後の湯に溶かし、汚れた所をブラシまたはスポンジで軽く洗います。その後、冷水又は温水で中性洗剤を洗い流し、乾いたタオルなどで十分に水分を取って、日陰で乾燥させます。



・縫製品に破損・異常が発生した場合、又は発見した場合は、そのまま使用せず、弊社お客様サポートセンターまでお問い合わせください。

車体のお手入れ

〈フレームや車輪のお手入れについて〉

- ・フレームやバックル、車輪についた砂や泥、ホコリなどは、そのまま放置しないで必ずよく絞ったぬれタオルなどを使用して拭き取ってください。
- ・バックルの表面に砂鉄などの異物が付着した場合は、粘着テープなどを使用すると取り除きやすくなります。



・フレームや車輪に砂や泥、ホコリが付いたまま使用しないでください。スライド部に砂などが入り、開閉できなくなります。
・泥、ほこりなどの拭き取りには、シンナー、ベンジンなどの揮発性の溶剤を使用しないでください。

- ・車輪は消耗品です。走行に異常を感じた場合は、タイヤの交換が必要な場合があります。弊社お客様サポートセンターまでお問い合わせください。（P35参照）

〈ネジ・ナット類について〉

- ・ネジ、ナット類のゆるみがないか、時々点検してください。ゆるみがある場合は、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。（P35参照）

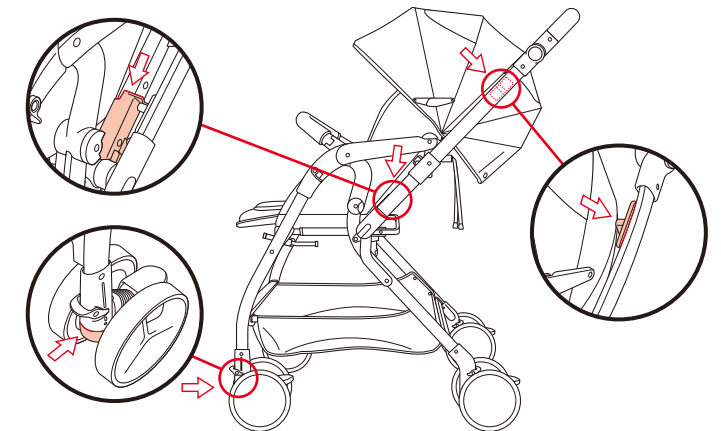
〈フロントガードについて〉

- ・フロントガードの差し込み部についたホコリなどは、そのまま放置しないで必ずよく絞ったぬれタオルなどを使用して拭き取ってください。

〈注油について〉

- ・可動部品には、適時注油するようにしてください。注油にはシリコン滑走剤を使用してください。
- ・注油の前には、泥やほこりを落とし、十分に水分を拭き取ってください。
- ・注油は、1カ所につき2～3滴程度としてください。

- ・車体がスムーズに開閉しない場合や、キャスターがスムーズに回転しない場合、車輪や車体がきしむ場合は、シリコン滑走剤を図の⇒の箇所にさし、開閉操作を2～3回行います。（開閉の場合のみ）



・フロントガードとアームレストの接続部付近及び内部には、シリコン滑走剤などを付着させないでください。フロントガードが外れるおそれがあります。



困った時

・下記の対処方法で解決しない場合は、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。(P35参照)

〈ご使用中に困った時〉

お気づきの点		対処方法
開 閉	ベビーカーが開かない	ハンドルレバーロックを解除してから、ハンドルレバーを握って開いてください。(P7参照) シートの生地やシートベルトがアームレストや開閉ロックなどのフレームに挟まっていないか確認してください。
	ベビーカーを開く操作がやりにくい (ハンドルの高さが高い)	〈開く前に〉のP7②でハンドルをまっすぐまで起こさず、ハンドル角度調節の①か②程度(P13参照)まで起こしたハンドル高さの低い状態で、ベビーカーを開く動作を行ってみてください。
	ベビーカーが折りたためない	〈折りたたむ前に〉を行ってから折りたたんでください。(P23参照) 開閉ロック部分にシートベルトが挟まっていないか確認してください。
走行・ 方向転換 (キャスター)	ストッパーがきかない	ベビーカーを少し前進させてからストッパーをロックしてください。 ストッパー部に石などが挟まっていないか確認してください。
	キャスターが回転しない	手動キャスターロックレバーを上げ、ロックを左右共解除してください。(P12参照)
	押す人側の車輪が斜めになり、 ベビーカーが押しにくいと感じる	ハンドル切替え時にキャスターが誤った向きでロックされた可能性があります。 押す人側の手動キャスターロックレバーを上げ、ロックを解除してください。 (P10～12参照)
	ベビーカーを後方に動かす時、 操作しにくい	ハンドルを持ち上げて押す人側の足元にある車輪を軽く浮かせて動かしてください。 (P11参照)
	キャスターの回りが悪い	キャスターにシリコン滑走剤をさしてください。(P32参照)
ハン ドル 切 替	ハンドル切替えができない (ハンドルが動かない)	車体が完全に開き、開閉ロックが降りていることを確認してください。(P8参照) 左右のハンドル切替レバーを同時に引き上げながら、ハンドルを切替えてください。 (P10参照)
	ハンドル切替え時に、ハンドル ロックがサポートピンにかからない	背もたれを起こしている場合、背もたれを少し倒してから(P20参照)、 ハンドル切替えを行ってください。
リ ン グ イ	背もたれが起こせない	お子さまをベビーカーから降ろして、リクライニングベルトを上を引き上げ、背もたれを起こしてください。(P20参照)
ベ シ ル ト	バックルがとめられない	衣類などの生地やシートベルトがバックル挟まっていたり、異物がバックルに付着していないか確認してください。
保 守	タイヤが消耗した	タイヤが消耗し、走行に異常を感じた時はタイヤの交換が必要な場合があります。 弊社お客様サポートセンターに連絡してください。(P35参照)

〈再利用する時〉

お気づきの点	対処方法
前の使用者がどのような使い方をしていたのかわからない時は	使用状態が不明な商品をご使用になるのはお勧めできません。
ベビーカーにクラック(ひび割れ)や大きな傷がある時は	ご使用になれません。

保管について

- ・本体をポリ袋などに入れ、直射日光の当たらない、冷暗所に保管してください。
- ・上に荷物を置いたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。
故障や変形の原因となります。



- ・日除けの変形を防ぐため、横向きに寝かせたり、上に荷物を置いたりしないでください。
- ・火の近くに置いたり、炎天下で高温になる車中に放置しないでください。
プラスチック部品が変形し、性能を維持できなくなります。

廃棄について

- ・お住まいの各自治体の指示に従って処分してください。
- ・環境保護のため、指示された場所以外には放置しないでください。

SGマーク制度について

SGマーク制度は、SGマーク付き製品の欠陥によって人身事故が発生した場合に、製品安全協会が賠償措置を行う制度です。

- ・ベビーカーの場合、ご購入後4年以内の製品が対象となります。
- ・SGマーク付き製品そのものが故障した場合に補償するものではありません。
- ・人的損害(治療費等)を賠償するものであり、物的損害は賠償の対象となりません。



【製品の欠陥によって事故が起きた場合】

事故が発生した日から60日以内に製品安全協会へ連絡してください。
または、事故が起きたらすぐに製品安全協会へ連絡してください。

ご連絡は製品安全協会ホームページの事故申出フォームをお使いください。
<https://www.sg-mark.org/reparation>



〈保証について〉

・保証期間中(購入日より1年間です。)に部品の欠品、不良加工など弊社の責任によるもの、取扱説明書や注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、保証規定にもとづき無償修理を致します。故障の箇所によっては、修理できない場合がございます。

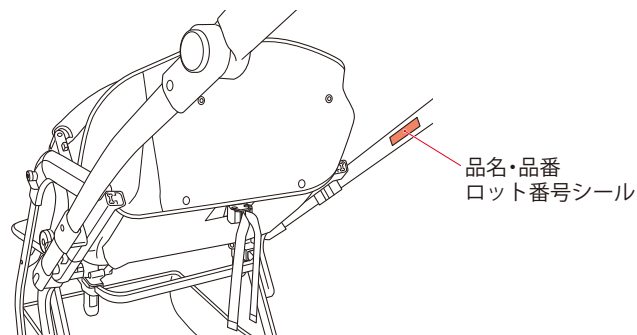
ただし、ご購入日より3年以上経過した製品についての修理はいたしますが、製品の修理箇所以外の品質の保証はいたしかねます。(修理箇所の保証期間は1カ月です。)

また、製造中止後の製品については、修理必要部品の在庫がなくなった場合、修理が出来ないこともあります。(部品の保有期間は、製造中止後3年間です。ただし、3年以内であっても部品の色、柄などについては、ご希望に添えない場合があります。)

〈アフターサービスについて〉

・ご使用中に故障などが発生したり、点検中に発見した場合、部品の交換または修理の必要が生じた場合、各部の固定部などにゆるみやきしみ音があったり、部品の欠落、車輪の回転の円滑さに異常がある場合、及びその他異常を感じた場合は、ご使用を中止し製品名・品番・ロット番号(下図参照)をご確認のうえ、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。

・お問い合わせの際に、スムーズな対応が行えますよう、ハンドル背面側シールの
品名・品番・ロット番号を必ずお伝えください。



アフターサービスについての連絡先

ニューウェルブランズ・ジャパン合同会社

〈電話連絡先〉

ベビー事業部 お客様サポートセンター TEL 0120-415-814

携帯電話からご利用の場合（通話料お客様負担）TEL 0570-004-155

受付時間：AM10：00～PM5：00（土、日、祝日、弊社所定休日を除く）

MEMO

[illegible]

お買い上げ時レシート
貼り付け位置

・お問い合わせの際に、スムーズな
対応が行えますよう、ベビーカー
お買い上げ時のレシート(領収書)
を貼り付けてください。
